

在宅医療・介護連携のための市町村ハンドブック

平成25年12月



独立行政法人
国立長寿医療研究センター

目 次

1 在宅医療・介護連携の必要性について	1
(1) 地域包括ケアシステムの構築がますます重要に	1
(2) 在宅医療は地域包括ケアシステムの不可欠の要素	1
(3) まずは、自らの市町村で課題の確認を	2
2 在宅医療・介護連携の進め方	3
(1) はじめに ― それぞれの市町村の状況に応じた施策の展開を	3
(2) 市町村での事業の取組みのフローチャート	4
(3) 市町村における担当課の決定	6
(4) 郡市区医師会との協働	9
(5) 地域包括支援センターの位置づけ	10
3 具体的取組み	11
A. 会議の開催（会議への医療関係者の参加の仲介を含む）	12
B. 地域の医療・福祉資源の把握及び活用	17
C. 研修の実施	20
D. 24 時間 365 日の在宅医療・介護提供体制の構築	24
E. 地域包括支援センター・ケアマネジャーを対象にした支援の実施	29
F. 効率的な情報共有のための取組み （地域連携パスの作成の取組み、 地域の在宅医療・介護関係者の連絡様式や方法の統一など） ..	31
G. 地域住民への普及・啓発	33
H. 年間事業計画	35
4 今後に向けて	39
(1) 市町村事業のさらなる向上のために	39
(2) 制度改正の動向	41
資料 1) 各市町村の取組みに関する図表等の出典一覧	42
資料 2) 地域包括ケアシステム構築への取組みにおいて参考にされたい情報紹介	45

1 在宅医療・介護連携の必要性について

(1) 地域包括ケアシステムの構築がますます重要に

- 2025 年に向け高齢化がさらに進展することが予想されている。

	2012 年 8 月		2025 年
65 歳以上の高齢者	3,058 万人	→	3,657 万人
75 歳以上の後期高齢者	1,511 万人	→	2,179 万人

- 独居の高齢者世帯や高齢者のみの世帯が増加し、さらに首都圏をはじめとする都市部において急速に後期高齢者人口が増えることが予測されている。
- そのような中、多くの国民が自宅等住み慣れた環境での療養を望んでいることから、できる限り住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を実現できる社会を目指す必要がある。

そのためには、介護、医療、住まい、生活支援、予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築することがますます重要となる。

「市町村が中心となって介護、医療、住まい、生活支援、予防にわたる支援が包括的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進める」

「経済財政運営と改革の基本方針」（平成 25 年 6 月）

(2) 在宅医療は地域包括ケアシステムの不可欠の要素

- 医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ高齢者を地域で支えていくためには、居宅等において提供される訪問診療等の医療（在宅医療）の提供が、地域包括ケアシステムの不可欠の構成要素となる。
- 今後 2025 年までに団塊の世代が 75 歳以上となり、地域において疾病や要介護状態にある高齢者数が大きく増加することは避けられない状況である。このような中で、在宅医療の提供を含む包括ケアシステムを日常生活圏域の中でこれまでの生活との継続性をもって実現するためには、各々のかかりつけ医がその力を在宅医療の分野で十分に発揮することが重要であり、多くのかかりつけ医の参画を得られるよう、市町村が地域医師会等と協働することにより、面的な提供体制を整えることを目標とする。
- また、従来の在宅医療連携拠点事業の主体をはじめ、それぞれの地域で従前から在宅医療に取り組んでいる医療機関等の豊富な経験は、各地域における事業展開にとって大変貴重であるので、これらの医療機関等の協力を得られるような体制を考慮することが望ましい。

- 在宅医療は、医師に加え、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ関係職種等多くの職種によって提供される。これに介護関係職種を加えた多職種による真に包括的なケアのための協働・連携の体制を整えることが必要である。
- 市町村は、このようなシステムの扇の要として、積極的にその役割を果たしていくことが期待されている。

「地域包括ケアシステムは、介護保険制度の枠内では完結しない。例えば、介護ニーズと医療ニーズを併せ持つ高齢者を地域で確実に支えていくためには、訪問診療、訪問口腔ケア、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問薬剤指導などの在宅医療が、不可欠である。」

「これまで取り組んできた在宅医療連携拠点事業について、地域包括推進事業として制度化し、地域包括支援センターや委託を受けた地域医師会等が業務を実施することとすべきである。」

「地域包括ケアシステムの確立は医療・介護サービスの一体改革によって実現するという認識が基本となる。」

社会保障制度改革国民会議報告書(平成 25 年 8 月)

- なお、政府においては、社会保障制度改革国民会議の報告書等をうけて、在宅医療・介護の連携が市町村の介護保険法における地域支援事業の中に位置づけられるよう、あるいは医療計画の中で市町村の在宅医療に向けた取組みを反映させるための制度改革の検討が進められている。
今後は、この改革の動向にも十分留意をしながら、事業を進めていく必要がある。

(3) まずは、自らの市町村で課題の確認を

- 事業の開始に当たっては、上記の事項が自らの市町村で具体的にどのような現状にあり、何が課題となっているのかを担当者が確認することがその第 1 歩となる。
例えば、市町村の年齢別人口や死亡数等は今後どのように推移するのか、在宅医療に携わる医師、看護師等は充足している状況か、医療と介護の連携は十分図られているか、在宅医療について医療介護関係者そして何より住民の十分な理解は得られているかなどの基本的事項について、統計の活用や現場からの聞き取りなど多様な手法で確認しておくことが重要である。
このことは、その後の市町村内の調整や、関係団体に協力を求める際にも有益である。
{3-A (会議の開催) の項参照}

2 在宅医療・介護連携の進め方

(1) はじめに — それぞれの市町村の状況に応じた施策の展開を

- 言うまでもなく、市町村における状況は一様ではない。人口の状況や地勢、医療・介護資源、これまでの取組み等に応じて、取りうる施策は変わってくる。
- 市町村においては、各種の研修、先行市町村の視察等を通じて様々な実施例を学びながら、地域包括ケアシステムの実現というゴールは踏まえつつ、自らの市町村らしいシステムの構築について検討し、将来的な在宅医療・介護連携のあり方を見据えた上で、実施していくことが基本である。

※ これまでの取組みについては、

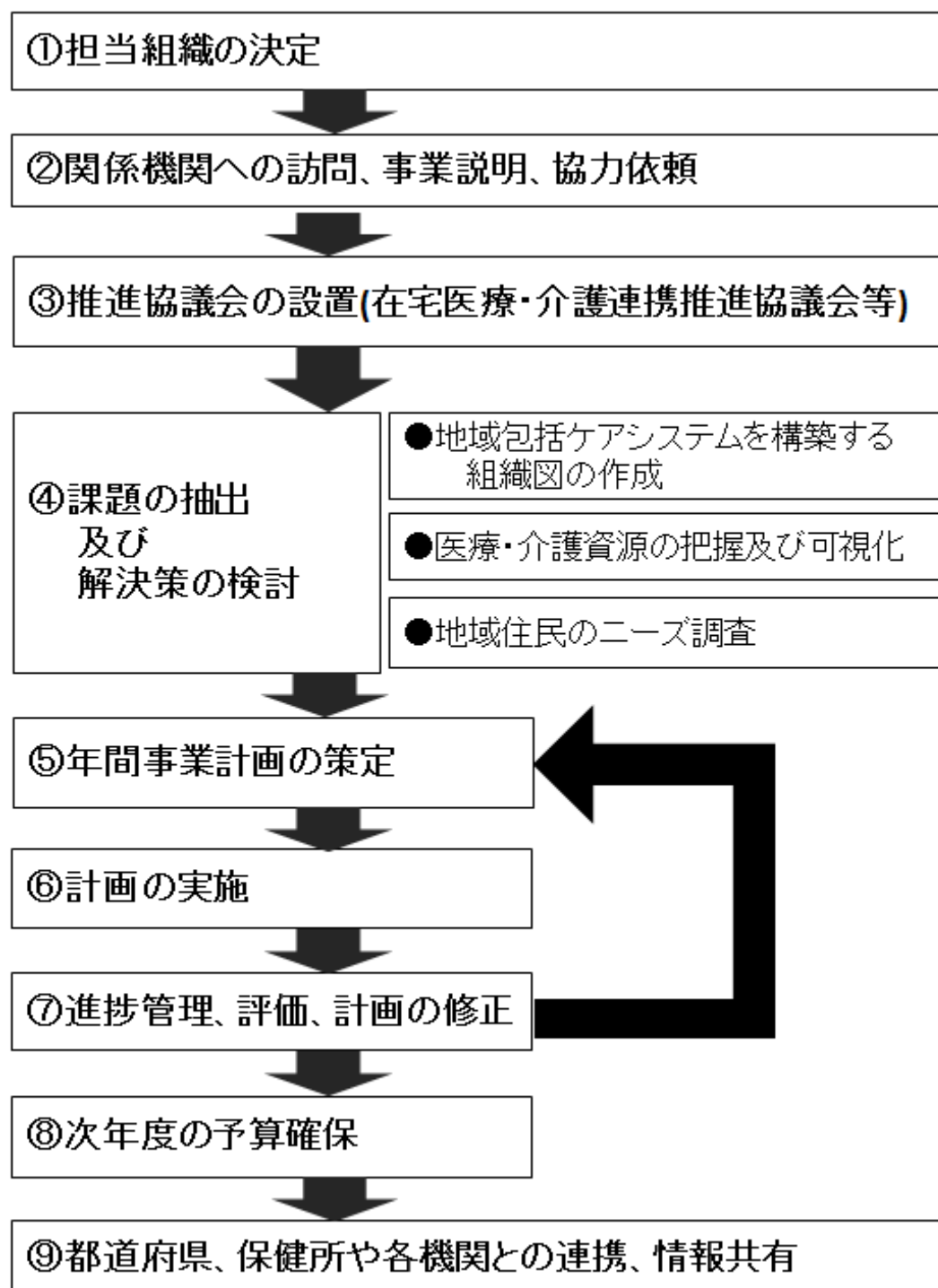
(独)国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部のウェブサイト

<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku/index.html>

にまとめているので、参考にされたい。

※ 今後、在宅医療の推進、医療・介護連携を市町村中心で進めていくに当たっては、ノウハウの提供や研修の支援等が一層求められているところであり、国立長寿医療研究センターとしては、これまでも厚生労働省から在宅医療に係る人材育成事業の進捗管理等の委託を受けてきたナショナルセンターとして、厚生労働省とともに、市町村等の支援にさらに努力していくこととしている。

(2) 市町村での事業の取組みのフローチャート



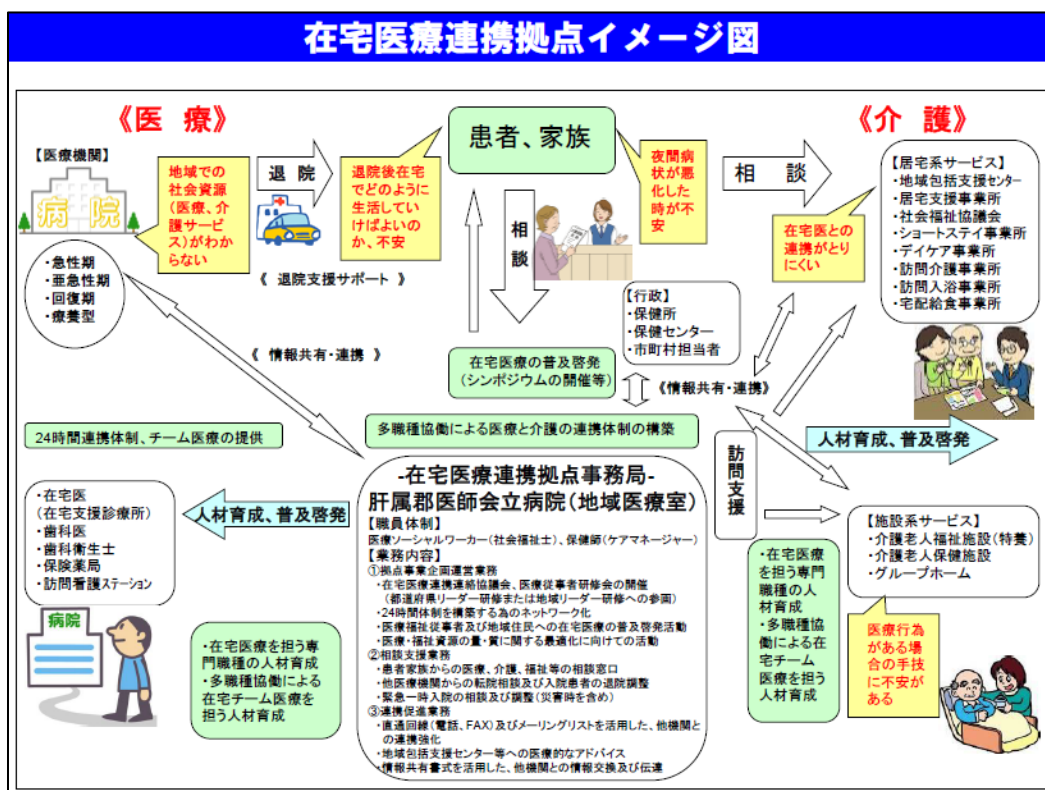
※ 地域包括ケアシステムを構築する組織図とは、地域を構成する資源やつながりを可視化させたものである。

現状においても組織図を作成することで連携状況が把握しやすくなる。

例) 愛知県 津島市における地域の組織図 (図 1)



例) 鹿児島県 肝属郡医師会立病院における地域の組織図 (図 2)

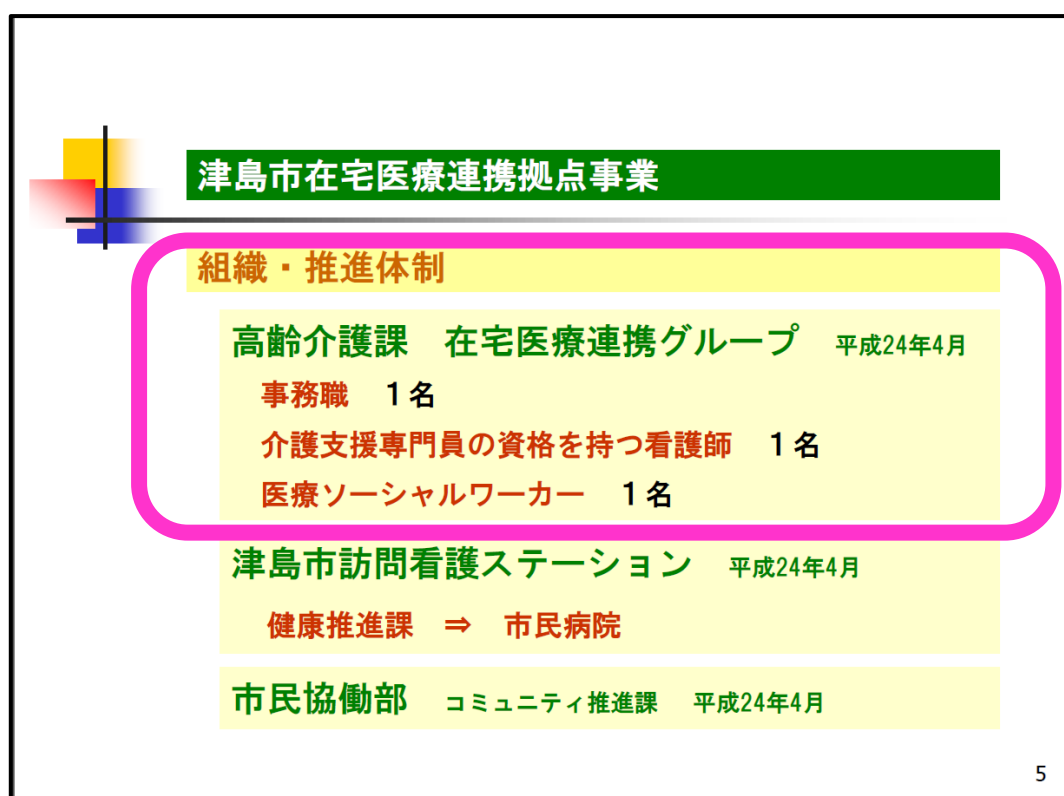


※地域のどの機関や部署がどのような役割を担い、どのように繋がっているのかを示す

(3) 市町村における担当課の決定

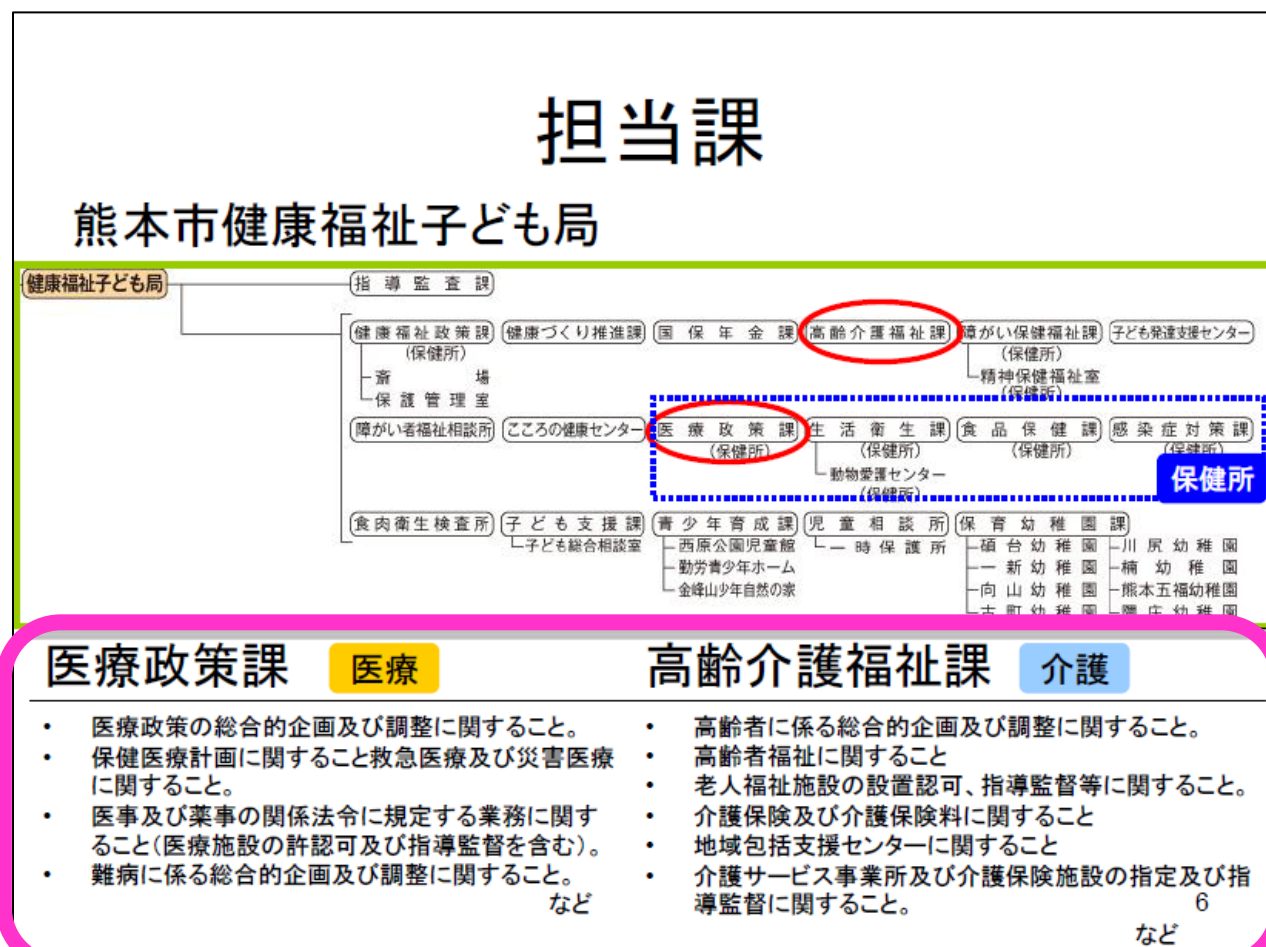
- 在宅医療の推進に関しては、これまで市町村になじみが小さく、担当課が決まっていないケースが多い。
地域包括ケアシステムや在宅医療推進を所管する部門を新設する方法や現行の組織体制で行う際には、保健、国保、介護等の関係部門が連携協議のうえ担当部署を決定することが望ましい。
現行の組織体制を活用する場合には、地域包括ケアシステムの体制構築において中心的役割を担う介護保険担当課が所管することが考えられる。なお、担当部局と関係部局との庁内横断的な連携体制をつくることが重要である。
- 自治体によっては、これまで医療関係機関との関係が深い健康関係所管部局や国保担当部局などが担当することも想定されるが、その際においても介護保険担当部局との連携を十分にとれる体制を整えることが重要である。
- 新たな業務であるので、担当者の育成や組織としての知見・ノウハウの集積のため、十分な体制の構築や異動時の配慮をお願いしたい。

例) 愛知県 津島市 (図 3)



※ 津島市では、高齡介護課内に在宅医療連携グループを作り、事務職、介護支援専門員の資格を持つ看護師、医療ソーシャルワーカー各1名を配置。事務職のコーディネートのもと、専門職は、医療機関や施設へのアウトリーチ等の場で、その専門性を十分に発揮し、地域の顔の見える関係作りに貢献した。

例) 熊本県 熊本市(政令指定都市) (図 4)



※ 熊本市(政令指定都市)は、保健所内の医療政策課がこれまでの保健所活動の中で、医療施設を中心に顔の見える関係を構築していることを有効利用し、医療サイドからの在宅医療・介護連携を進めた。

さらに、介護面を担当している高齢介護福祉課との連携により、医療と介護両サイドからの連携推進活動を行った。

○ 都道府県における担当課設置の一例

都道府県では、在宅医療推進事業を医療系の担当課が管轄している地域が多い。

一方、市町村では、在宅医療推進の担当課が明確に位置づけられていないケースが多く、都道府県から市町村への連絡・調整に困難が生じている地域が見られる。

円滑な事業展開に向けた解決策として、都道府県の介護担当課内に在宅医療の担当窓口を設置し、都道府県－市町村の連動した事業展開にむけて取り組むケースも見られ始めている。

例) 鹿児島県 (図 5)

鹿児島県 Kagoshima Prefecture

お問い合わせ サイトマップ 携帯サイト Foreign Language 文字サイズ・色合いの変更

ホーム 危機管理・防災 くらし・環境 健康・福祉 教育・文化・交流 産業・労働 社会基盤 県政情報

サイト内検索 Google カスタム検索 サイト全体 検索 組織から探す テーマから探す

ホーム > 県政情報 > 県庁案内 > 県の組織と業務 > 保健福祉部 > 本庁 > 介護福祉課

更新日: 2012年4月3日

本庁

- 保健医療福祉課(医療制度改革推進室 国保指導室)
- 介護福祉課
- 健康増進課
- 子ども福祉課
- 生活衛生課
- 社会福祉課
- 障害福祉課
- 薬務課
- 地域医療整備課

介護福祉課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号 (行政庁舎3階)
電話: 099-286-2696 ファックス: 099-286-5554 メールアドレス: kaigo@pref.kagoshima.lg.jp

業務内容

- 高齢社会対策の企画及び総合調整に関すること。
- 老人福祉法(昭和38年法律第133号)の施行に関すること。
- 介護保険法(平成9年法律第123号)の施行に関すること。
- 高齢者虐待の防止, 高齢者の養護者に対する支援等に関する法律(平成17年法律第124号)の施行に関すること。
- 社会福祉法の施行に関すること(青少年男女共同参画課, 社会福祉課, 障害福祉課及び子ども福祉課の所管に属するものを除く。)
- 認知症対策に関すること。
- 地域包括ケアの推進に関すること。
- 介護実習・普及センターに関すること。
- 高齢者の保健福祉関係の施設整備に関すること。
- 前各号に掲げるもののほか, 高齢社会対策及び高齢者の保健福祉に関すること(他課の所管に属するものを除く。)

組織体制

介護企画係, 保険者指導係, 認知症対策係, 地域包括ケア推進係, 施設整備係, 事業者指導係

※ 鹿児島県は、介護福祉課内に『地域包括ケア推進係』を設置し、平成 25 年度在宅医療推進事業の在宅医療推進事業担当課として、市町村や関係団体等との協働・連携を図っている。

(4) 郡市区医師会との協働

- 面的な在宅医療の推進、在宅医療・介護の連携を進めるために、在宅医療において中心的役割を果たす医師の団体である地域の医師会(郡市区医師会)との協働関係の確立は極めて重要である。
- まずは、他の職能団体との調整に先立ち、郡市区医師会において当該市町村の在宅医療の推進を担当する役員等に市町村としての政策を十分説明した上で、活動への参加とその進め方について丁寧に調整を進める。さらに、毎月等定期的な会合の開催等を通じて、地域医師会と市町村において、現状や課題を共有し、日常的に相談のできる関係を確立することが望ましい。

【郡市区医師会にお願いしたいこと】

- 今後、75歳以上人口が急速に増大していく中で、在宅医療の推進や介護との円滑な連携をすすめることが何よりも重要であり、地域の医師には、かかりつけ医として、この取り組みにおいて中心的な役割を果たしていくことが期待されます。
- 郡市区医師会には、連携事業を実施する市町村から協力の要請があると思われますが、以下のような事項例を中心に、可能な限りの対応をお願いしたいと考えます。(具体的にはそれぞれの市町村の求める内容は異なると思われますので一般的な例とお考え下さい)

※一般的な協力事項

- ・ 協議を担当する窓口になっていただく役員等を決めて下さい。
(事務局・訪問看護ステーション等のある郡市区医師会において、本件の事務担当者が選任できるようでしたら併せてご紹介下さい)
- ・ 中心的事業の一つである研修に医師が積極的に参加できるよう調整下さい。
- ・ 在宅医療・介護連携体制の構築に向け、市町村等関係者との協議、助言、協力等の場への参画及び実施に可能な参画をお願いします。

例) 市当局との定期協議

関係職種も含めた推進協議会への参加
研修の企画・実施
24時間365日の提供体制の確立
効率的な情報共有のための取り組み
地域住民への普及啓発

(5) 地域包括支援センターの位置づけ

- 地域包括支援センターは、介護保険法における地域包括ケアの中心的機関であり、専門職が配置されていることから、『医療』との連携強化においても、実務的な役割を担うことが期待される。
- しかし、地域包括支援センターが質的にも量的にも多くの課題に直面していることや、地域包括支援センターが市町村からの委託か直轄か、職種の配置の状況、担当する圏域などにより、医療や地域との関係性がそれぞれ異なっていることから、機能の把握、役割分担、連携の仕組みなどについて地域ごとに検討する必要がある。
- 医療・介護連携に関して実績のある地域包括支援センターを持つ地域においては、当該センターの更なる活動展開を進めることも効率的な仕組み作りである。

例) 秋田県 横手市地域包括支援センターの取組み (図 6)

多職種連携の課題に対する解決策の抽出

**アンケート調査を対面型で
聞き取り、訪問型回収
⇒顔の見える関係づくり
の第一歩**

・医療機関	41か所(97.6%)	} 228か所 (95.5%)
・訪問看護ステーション等	5か所(100%)	
・居宅介護支援事業所	32か所(96.9%)	
・介護施設等	58か所(84.1%)	
・歯科診療所	41か所(100%)	
・薬局	51か所(94.4%)	

※ 横手市地域包括支援センターは、連携事業の開始に当たり、人員の増員が図られ、医療機関や介護事業所等、地域の 95.5%にあたる 228 か所へ訪問し、課題抽出のためのヒアリングを行いつつ、顔の見える関係作りに努めた。

3 具体的取組み

※ 以下の A～H は、厚生労働省医政局指導課が在宅医療推進事業の内容として例示した 7 項目 {平成 24 年度全国医政関係主管課長会議(平成 25 年 3 月 4 日)資料 1, P39-40} について、国立長寿医療研究センターにおいて解説を付したものである。
http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002woxm-att/2r9852000002wp3b_1.pdf

在宅医療推進事業

7つの事業

- A. 会議の開催（会議への医療関係者の参加の仲介を含む）
- B. 地域の医療・福祉資源の把握及び活用
- C. 研修の実施
- D. 24 時間 365 日の在宅医療・介護提供体制の構築
- E. 地域包括支援センター・ケアマネジャーを対象にした支援の実施
- F. 効率的な情報共有のための取組み(地域連携パスの作成の取組み)
- G. 地域住民への普及・啓発

A. 会議の開催（会議への医療関係者の参加の仲介を含む）

内 容

在宅医療・介護連携推進のため、市町村当局に加え、医師会、歯科医師会、看護協会等重要な医療側関係職種や地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護事業者等の介護関係職種の参加する在宅医療介護連携推進協議会（ここでは「推進協議会」と称する）を設置する。

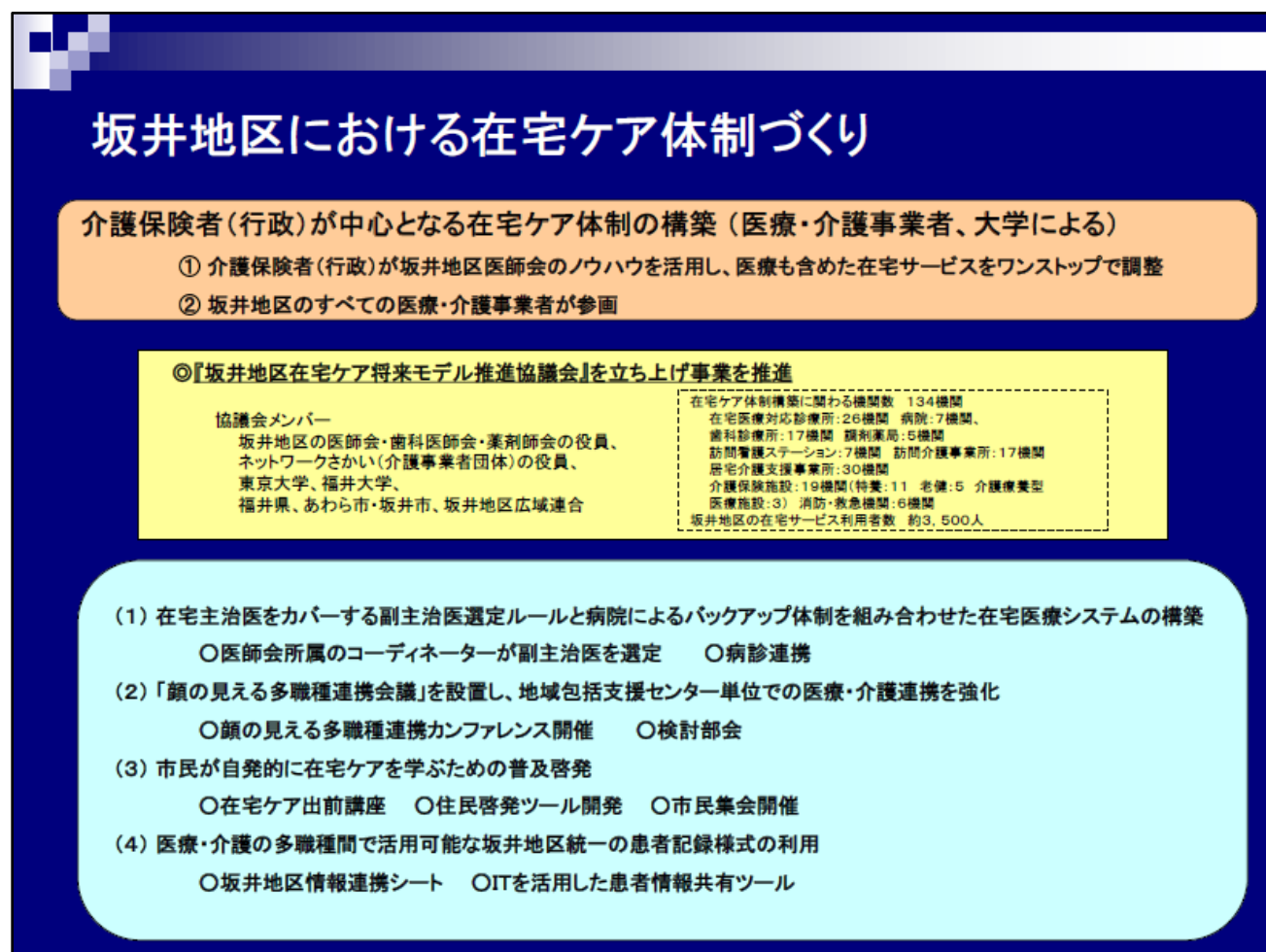
目 的

『推進協議会』では、市町村が在宅医療・介護連携推進のための組織の可視化、医療・介護資源の把握、住民ニーズの把握等のプロセスを経て、地域における現状と課題の抽出、対応可能な解決策を協議し、事業計画の共有・承認に至ることを目的とする。

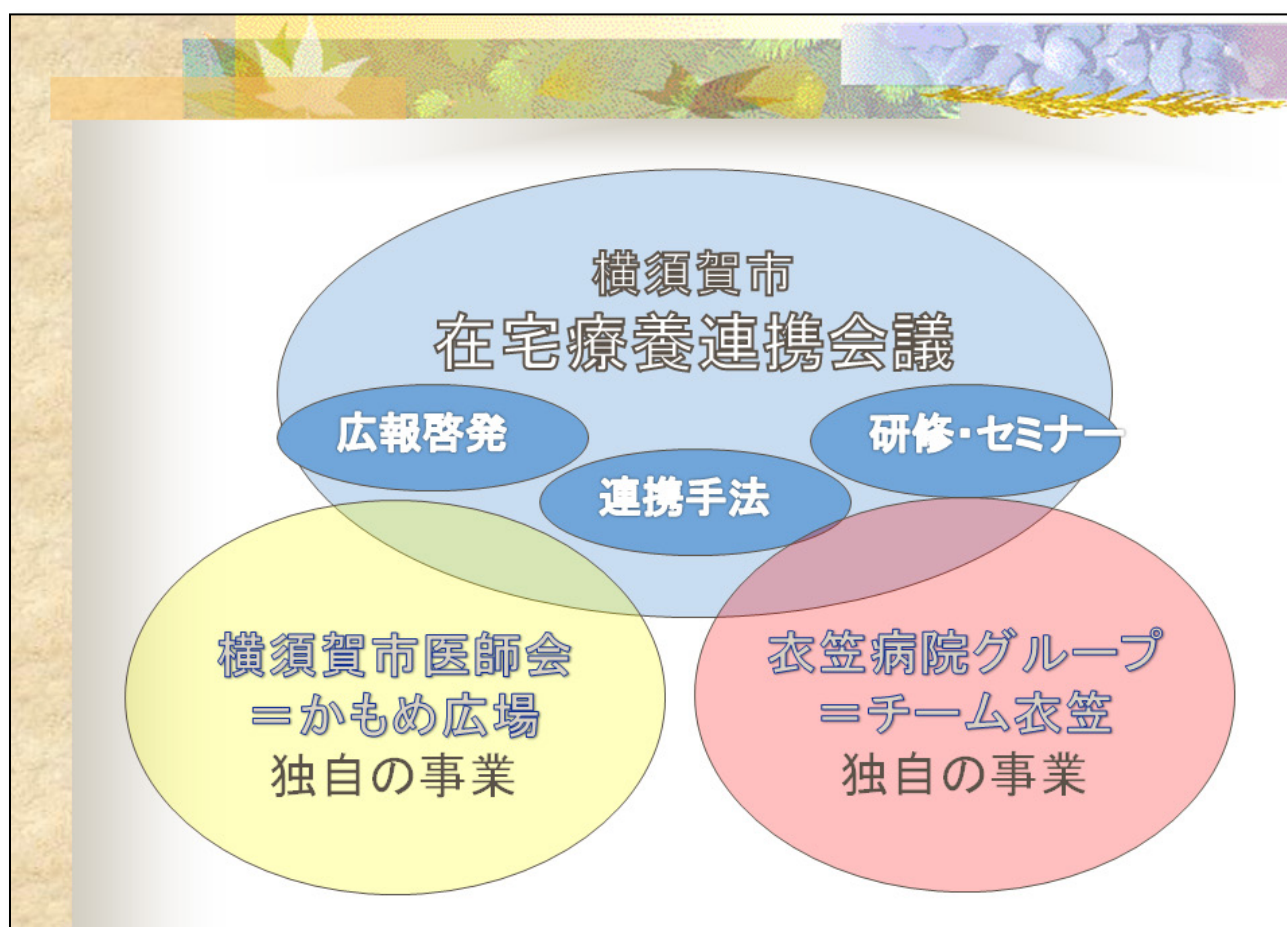
留意点

- 市町村主催の地域ケア推進会議が、すでに医療側の参加も含めて、本『推進協議会』としての役割を十分担うことができる場合には、出席者や会議目的などを十分考慮し、連携を図りながら進める必要がある。
- 介護・福祉においてはサービス担当者会議、地域ケア個別会議、市町村主催の地域ケア推進会議等のトップダウン、ボトムアップのしくみが構築されており、これらに在宅医療関係者が参加することも地域包括ケアを構築する上では重要である。
同時に在宅医療の質の向上、医療支援の評価、技術向上などに専門職として取り組むことも、安全な住民の地域療養生活を維持する上で重要であるという視点を確保頂きたい。
- 会議（あるいは会議への参加を依頼する段階）においては、地域の統計データに基づく在宅医療・介護連携の現状と課題に関する情報提供を行い、この課題への理解や協力を依頼することが望ましい。

例) 福井県 坂井地区広域連合(介護保険者)における会議設置の取組み (図 7)



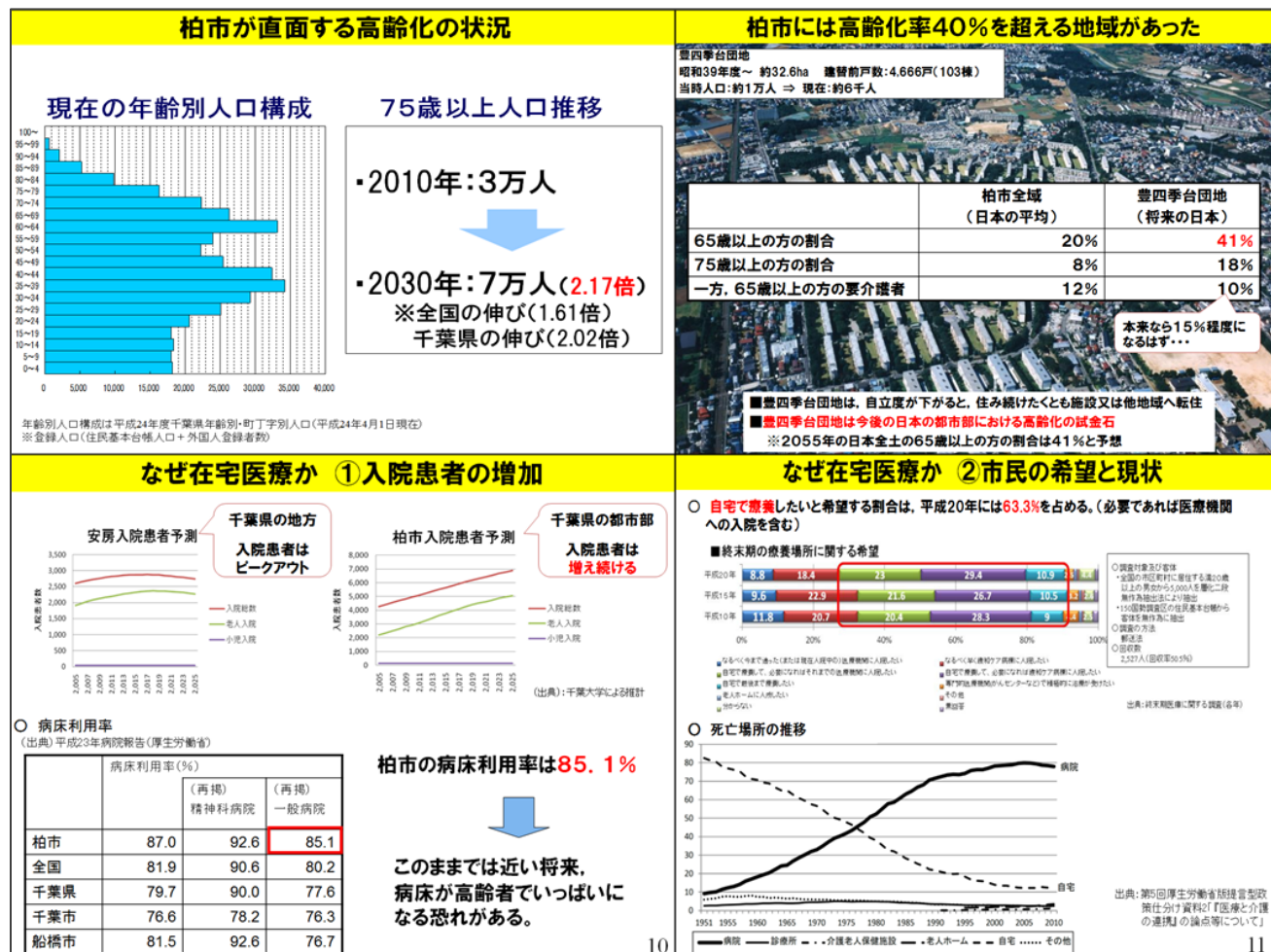
※ 坂井地区広域連合は「顔の見える多職種連携会議」を設置し、地域包括支援センター単位での医療・介護連携を強化している。会議では、地域における課題の抽出や対応策の検討を行っている。



※ 神奈川県横須賀市では横須賀市医師会と社会福祉法人日本医療伝道会（衣笠病院グループ）の2カ所の事業所が平成24年度在宅医療連携拠点事業を受託した。

横須賀市としても平成23年度より在宅医療推進に取り組んでいたことから、横須賀市が会議を調整し医師会を含めた活動を市内で面的に推進した。

例) 千葉県 柏市が実際に関係機関への説明に使用したプレゼンテーション資料①
(図 9-図 12)



例) 千葉県 柏市が実際に関係機関への説明に使用したプレゼンテーション資料②
(図 13、図 14)

在宅医療の推進主体について

<在宅医療の推進は、行政としてはどこが担うべきか？>

【在宅医療の推進にあたり必要な視点】

住み慣れた地域(日常生活圏域)におけるサービスの整備

訪問看護、ケアマネ、地域包括支援センターなどの各種介護
保険サービスとの連携調整

➡ (都道府県ではなく)市町村が主体性を持ち、地域の
医師会等と連携して取り組むことが必要。

13

在宅医療の課題と解決方針

理想

一部の医師による「点」で支えるのではなく、市全体をカバーする「面」への広がり

医療職・介護職等、多職種連携によるチームケア

利用者(市民)が在宅医療の意義を理解している

現実

24時間対応の負担感や、専門領域外への不安等から在宅医師が増えない

医療職・介護職、それぞれがサービスを提供している
例)介護職は医師に相談しづらい
病院の入退院時の引継ぎがない
リハビリの必要性が浸透していない

状態が悪くなると“入院しなくてはならない”という既成概念が強い

柏市と柏市医師会がタイアップし、
多職種を巻き込んだ関係づくり、市民への意識啓発を行おう！

15

B. 地域の医療・福祉資源の把握及び活用

内 容

地域を包括した、医療・介護資源マップまたはリストを作成し、地域の実情把握とともに、課題抽出を行う。

目 的

- 地域の医療介護資源の実情把握・認識共有を行い、課題を抽出する。
 - 情報共有による医療や介護関係者による円滑な連携を促進する。
 - 住民の医療・介護へのアクセスを容易にする。
- ※ マップの作成や共有を通じて医療・介護関係者間に顔の見える関係を構築し、多職種連携につながるという二次的効果も重要である。

留意点

- 医療機関等との連絡調整が難しかった介護関連事業所等に対し、医療資源のマップやリスト及びそれらへのアプローチ方法や時間帯等の情報を提供することにより、介護から医療への相談や連携をし易くする。
- これらの情報は、関係者にのみ限定公開する、電子媒体や紙面に印刷し配布するなど、情報を活用する対象の利活用性の高い方法にて共有する。
- 事業所情報は変化が大きいため定期的な更新が必要であり、地域の多くの事業所などに協力を促す必要がある。
- すべてを新たに調査するのではなく、介護情報公表システム、自治体や医師会ホームページ等すでに収集・公表されているデータを利活用することも重要である。

※把握すべき地域情報例

事業所

訪問診療をしている診療所、病院、在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、強化型在宅療養支援診療所、強化型在宅療養支援病院、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、訪問薬局、訪問歯科診療所、訪問リハビリテーション施設、ショートステイやデイサービス、療養通所事業所、小規模多機能事業所、レスパイト受け入れ機関、保健所、保健センター、地域包括支援センター、在宅療養患者の後方支援を行う病院 など

各事業所における活動実態

事業所の有無、事業所数、事業所の場所、受け入れ対象者、対象者人数、対象者の受け入れ条件、24 時間体制の有無、連携状況、相談可能な時間や窓口、等

地域資源を把握する目的

- 地域で療養するための情報を収集し、不足している資源や支援を可視化する
- 地域の連携体制を整える
- 利用者や関係者のアクセスを促進する

例) 沖縄県 中部地区医師会における医療・介護資源把握の取組み (図 15)



※ 中部地区医師会の作成した資源マップでは、在宅医療・介護に関わる施設の数や地域の分布状況等を一目で把握できる。

例) 福岡県 宗像医師会における医療・介護資源把握の取組み (図 16、図 17)

宗像地区医療機関診療機能情報										
	医療機関名	地区	紹介していた いた患者の 術後フォロー	癌手術患者外来フォロー		抗癌剤治療		麻薬管理 (疼痛コン ロールを含む)	丸山 ワクチン	G-CFS 製剤
				早期	進行	経口	注射			
あ			要相談			要相談		要相談		
						要相談				
			○	○	○	要相談	要相談	○	要相談	要相談
			○	○	○	○	○	要相談		
			要相談	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談		
			要相談							
			○		○	○	要相談	○	要相談	
			要相談	要相談	要相談	○	要相談	要相談		要相談
			要相談	要相談	要相談					
			○	○	○	○	○	○		
か			要相談					○		
			○	要相談	要相談			○		
			要相談	○	○	○	要相談	要相談		要相談
			要相談	要相談	要相談	○		要相談	要相談	
			○	要相談	要相談	要相談	要相談	○		
			要相談	要相談	要相談				要相談	要相談
						要相談		要相談		
								○		
			○	○	○	要相談	要相談		要相談	○
			要相談							
さ			○	○	○	○	要相談	○		○
			○	○	○	○	○	○		
			要相談	要相談	要相談	要相談				
			○	○	○	○	要相談	○	○	○
			要相談	要相談	要相談	要相談		要相談	要相談	要相談
			○	○	○	○	要相談	○	要相談	要相談
			○	○	○	○	要相談	○	要相談	要相談
			○	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談
			要相談	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談	要相談
			要相談	要相談	要相談	要相談		○		

在宅医療への取組情報											
医療機関名	クリニック			院長名							
				窓口担当者 (Dr代理対応の方)							
住 所	〒811-3434			TEL		FAX					
				メール	★各自でアドレスを交換してください						
在宅医療の取組み (○をつけてください)	主治医意見書の記載				○ 対応している	・ していない					
	訪 問 診 療				○ 定期的に訪問している	・ していない					
	新規の訪問診療				○ 受けてよい	・ 受けられない					
	かかりつけ患者の臨時往診				○ 対応している	・ していない					
	在宅医療支援診療所の届出				○ 有	・ 無					
医師との面談方法 優先順位 (1～6の番号をつけてください)	直接面談	往診同席	外来同席	電話連絡	FAX連絡	メール連絡	その他				
	3	1	2	4	6	7					
担当者会議への 医師の参加 (○をつけてください)	先生の都合に合わせた時間で、先生の医療機関で開催の場合				・ 30分以内なら可能	○ 15分以内なら可能	・ 困難				
	訪問診療に合わせて、患者宅で開催の場合				・ 30分以内なら可能	○ 15分以内なら可能	・ 困難				
退院時カンファレンス への医師の参加 (○をつけてください)	先生の都合に合わせた時間で、入院先医療機関で開催の場合				・ 30分以内なら可能	・ 15分以内なら可能	・ 困難				
主治医にアポイントメントとる際に 比較的対応可能な時間帯				曜 日 (○×をつけてください)	月	火	水	木	金	土	
				時 間 帯 (自由記載をお願いします)	8:30～9:00						
多職種の方々への要望 (連絡時の注意事項等)				ケアマネジャー連絡・訪問可能時間			連携ガイドに記載 (○) ・ 不可				

※ 宗像医師会は、医療機関、介護施設の数だけではなく、実際に対応可能な機能についても詳細に調査を行い、リスト化し、地域で有効に活用している。

C. 研修の実施

内 容

- 研修の実施は、在宅医療・介護連携の推進及び在宅医療に携わる人材を確保するための中心的な事業であり、全市町村において研修の実施について検討することが必要である。
- 研修では、在宅医療・医療介護連携の必要性や在宅医療の実際の技法、多職種連携の実際、医療保険・介護保険上の各種手続きなど関係職種が実際に業務をすすめる上で必要になる様々な事項を全体研修やグループワーク等を通じて学ぶ。

目 的

- 研修の場に、多職種が一堂に会することで、知識等の習得に加え、顔の見える関係が構築できるとともに、互いの専門性が理解でき、医療・介護の「共通言語の構築」に寄与することができる。
- 同職種研修においても、在宅医療への参入を躊躇している医師等に対し、経験者のこれまでの実践のノウハウ等の情報提供を通じて、新規の参入を促すことができる。

留意点

- あらゆる研修は年間事業計画に沿って目標設定を行い、準備、実行することが重要である。目標が不明確な研修は効果が薄いので注意が必要である。
- 各地域においては、医師会など関係職種において在宅医療に関する研修の取組みが進められている。まずどのような取組みが展開されているのかを把握し、関係するものがあれば、当該研修との相互の位置付けについて調整しておくことが必要である。
- 地域の実情を把握した上で、教育的介入をしたいターゲットを明確にする。
- 医師会等、在宅医療に関わる関係者と研修の目的を共有し、できるだけ多職種参加による研修会を計画・開催する。
- グループワーク、医師の同行訪問等、有効と言われている手法を積極的に取り入れる。
- 参加者から実施した研修に関するアンケートをとり、今後の研修効果の改善に役立てる。また、複数回参加する参加者が多い場合には、例えば、前回の研修の際のグループワーク等で抽出された「在宅医療推進に当たっての地域の課題」を次回の研修に活かす等研修内容を適宜見直して行くことも必要である。
- 介護職（ケアマネジャー等）は医療職に対し、いわゆる『敷居の高さ』を感じていることが多いので、市町村は連携調整担当として介護職も一定の発言ができるように配慮することが必要である。

- ※ 研修会の具体的進め方については、
「在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会運営ガイド」を参考にされたい。
こちらのページからダウンロードが可能です↓
http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/kensyu/files/outline/uneiguide_all.pdf
- ※ 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会ホームページはこちらです↓
<http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/kensyu/index.html>

例) 宮城県 石巻市立開成仮診療所における地域のニーズ調査に基づく研修会の取組み
(図 18)

第1回多職種合同研修会

- 日時:平成24年10月27日(土)13:30~16:10
- 場所:石巻合同庁舎 5階 大会議室
- 目的:地域の在宅医療に関わる多職種が一堂に会する場を設け、
地域における連携上の課題の抽出と地域包括ケアへの理解を深める。
- 内容:
 - (1)在宅医療と在宅医療連携拠点事業について
石巻市立病院開成仮診療所 所長 長 純一
 - (2)「在宅医療連携ガイド作成に関するアンケート調査」結果報告
石巻市立病院開成仮診療所 在宅医療連携拠点事業担当 安達祥子
 - (3)意見交換「石巻における多職種連携の課題について」
 - (4)講演「地域包括ケアの推進について」
講師 厚生労働省 老健局振興課 地域包括ケア推進係 係長 山田大輔
 - (5)意見交換「多職種連携の課題に対する解決策について」

在宅医療連携拠点事業活動報告


石巻市立病院開成仮診療所 在宅医療連携拠点事業所

11

※ 石巻市立開成仮診療所は、地域の在宅医療に関わる多職種が一堂に会する場を設け、地域における連携上の課題抽出と地域包括ケアの理解を深める目的で図に示すような研修会を開催している。

例) 福井県 オレンジホームケアクリニックにおける多職種連携のための研修会の取組み
(図 19)



在宅医療 虎の穴 ～多職種連携実践研修～

在宅医療の基礎講義と、専門力強化、そして 多職種連携の実践まで、顔の見える関係構築 を軸に行う勉強会

2012年度開催

開催日	タイトル	サブタイトル	テーマ	レベル	参加人数
2012/4/14	在宅医療にギアーズ研修	在宅医療プロフェッショナル大作戦	在宅医療、はじめましょう！	STEP1	84人
2012/5/10	MSW在宅連携研修	行列の出来る在宅相談所	在宅の必要条件とは	STEP2	18人
2012/6/30	専門力強化研修	訪問看護VS薬剤師	専門力を活かした緩和ケア	STEP2	41人
2012/7/31	在宅医療と福祉用具を考える会	福祉用具職 テクノエイジャー	在宅医療における多職種連携	STEP2	22人
2012/8/11	多職種連携実践研修	在宅医療プロフェッショナル大作戦	多職種連携で在宅医療は変わる	STEP3	50人
2012/9/9	多職種連携実践研修	在宅医療プロフェッショナル大作戦	多職種連携を活かした在宅緩和ケア	STEP3	26人
2012/10/21	在宅医療基本講座	在宅の鉄人	在宅医療、はじめましょう！	STEP1	46人
2012/11/17	多職種連携実践研修	在宅医療プロフェッショナル大作戦	多職種連携で在宅医療は変わる	STEP3	95人
2012/12/8	専門力強化研修	在宅ナースのお仕事	ひとつ上のスキルを地域で活かそう	STEP2	28人
2013/1/20	介護職のための医療基礎知識講座 賛会	ケアしてガッテン	医療と介護の連携を深めよう	STEP2	32人
2013/2/24	多職種連携実践研修	在宅医療プロフェッショナル大作戦	高齢者を支える多職種連携	STEP3	44人
2013/3/12	介護職のための医療基礎知識講座 賛会	ケアしてガッテン	医療と介護の連携を深めよう	STEP2	24人
2013/3/31	日本在宅医学会大会 ワークショップ	行列のできる在宅相談所	多職種連携で在宅医療は変わる	STEP3	57人

※ 系統的な研修メニューが組まれている。

例) 福井県 オレンジホームケアクリニックにおける多職種連携のための研修会の取組み
(図 20-図 23)



※ 若者や学生など、これから地域を担う人材も重要なターゲットとして、研修内容と共にスライドやキャッチコピー等に配慮した、楽しく学べる研修手法を実践している。

例) 多職種連携における在宅チーム医療を担う人材育成事業における
国立長寿医療研究センターによる研修会アンケート用紙

在宅医療・介護連携推進事業研修会 アンケート用紙

<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/jinzaiikusei/2013/Q.pdf>

D. 24 時間 365 日の在宅医療・介護提供体制の構築

内容・目的

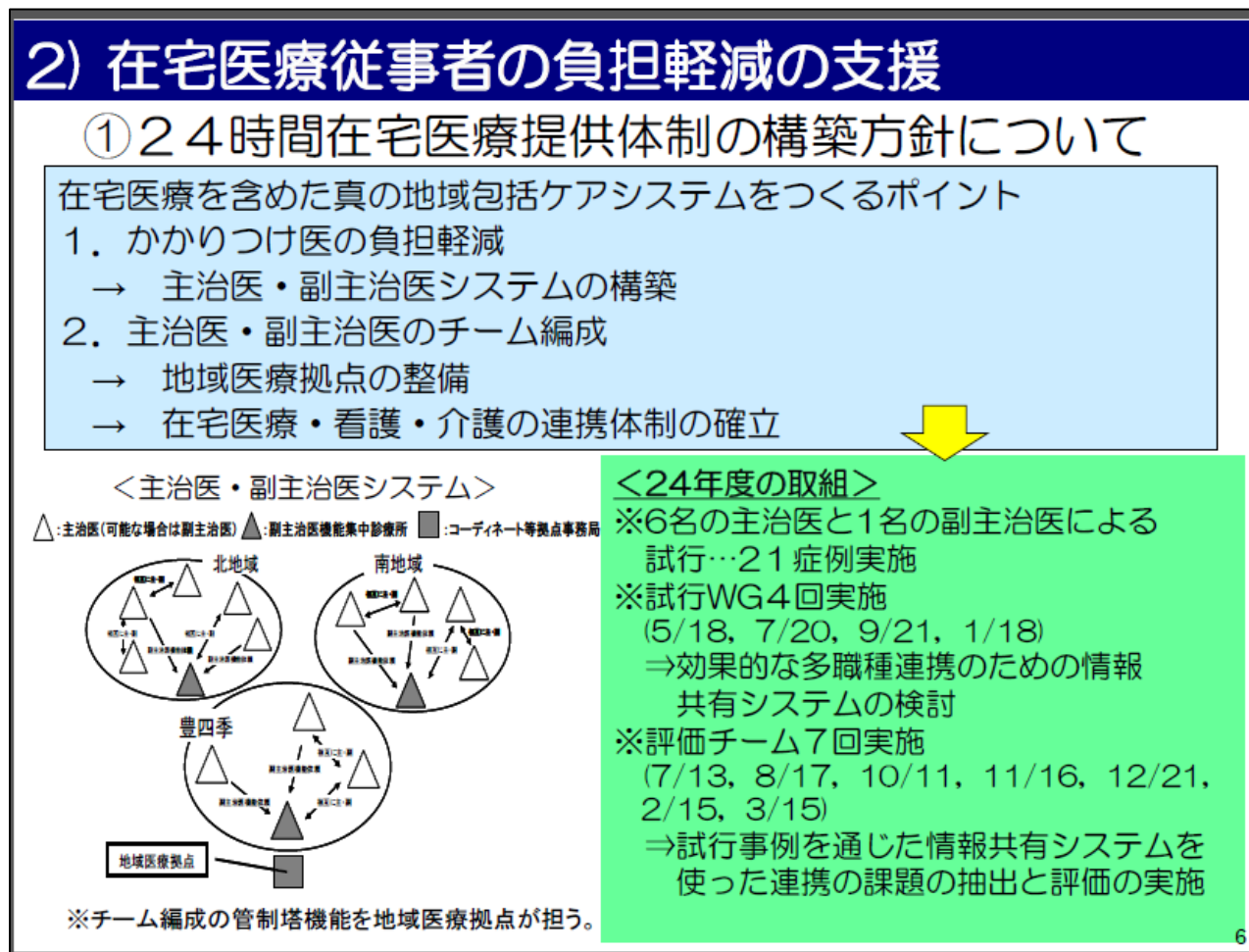
- 24 時間 365 日の在宅医療・介護提供体制とは、在宅医療や介護を利用している患者や利用者の緊急の相談等に対応できるよう、医療機関や訪問看護事業所、介護事業所間の連携により、24 時間患者からの連絡を受けられる体制または往診や訪問看護、介護サービス等を提供できる体制を整備することをいう。
- 退院や症状の悪化などにより在宅療養が必要になった患者に対し、1 人のかかりつけ医等で 24 時間 365 日対応することは困難であるため、複数の在宅医による連携体制が重要である。
そのひとつの手法として、主治医・副主治医制等のコーディネート等をはじめとする療養支援調整の仕組みを、市町村レベルで面的に実現する。
- 地域のかかりつけ医や関係者の負担を軽減し、在宅療養患者の安心を確保するため、在宅療養患者の後方支援病床の確保等の病診連携の体制構築も重要である。
- 在宅療養する住民の現状把握や定期的もしくは必要時に在宅主治医、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、セラピスト等の医療系専門職及びケアマネジャー、介護事業者等の介護系職種によるカンファランス等を通じ、在宅療養を継続的に支援する体制を構築する。
- 地域包括ケアシステムの中心をなすものであり、すべての地域において、その実施について検討することが必要である。

留意点

- 重要なことは、地域で住民を含めどのような地域を目指すのかを共有し、住民がいつまでも安全・安心して暮らせる地域にむけて、地域の多職種が有機的に連携できる体制をとることである。
- 『24 時間 365 日』の医療・介護支援体制の構築は、最もハードルの高い響きを持った取組みであるが、多職種が有機的に連携した場合、個々にかかる負担は非常に軽減されることが報告されている。
- 後方支援病床の確保は、病状が変化した際に必要な治療を受けられるようにするためであり、地域でも医療機関のように安心した療養環境を提供することにつながる。
確保する病床数や受け入れ基準、手順、対象の病状、対象エリアについては地域の関係者、各事業所の承認のもとで検討を重ね、マニュアル作成などにより着実に実現に向けて進める必要がある。
- 地域の病院や診療所、訪問看護ステーション、介護事業所等多くの主体の連携が必要な事業であり、市町村や郡市区医師会等のリーダーシップのもと、各事業所間や、関係者間の心理的信頼関係の構築しながら進めていく必要がある。
- 関係者間の情報共有の仕組み(F 参照)を併せて検討することが必要である。

- 地域の在宅医療において、医療機関内部の医療提供体制のようなシステム化されたチームプレイが確立していない地域も見られる。
- 地域でも施設でも大差ない医療支援が提供できる『医療の質の担保』『質の向上』に向けた仕組み作りを今後進めていく必要がある

例) 千葉県 柏市における 24 時間 365 日在宅医療提供体制構築への取組み(図 24)



- ※ 柏市は、24 時間体制の在宅医療の提供体制の構築のために、主治医・副主治医制度の構築や ICT を用いたリアルタイムの多職種連携構築に向けて実践的な活動を行っている。

例) 国立長寿医療研究センター 在宅医療支援病棟における取組み (図 25)



※ 国立長寿医療研究センターでは、在宅療養を継続できるよう、患者や家族の安心を担保し、かかりつけ医の負担軽減を目的に在宅療養支援病棟を運営している。

かかりつけ医を『登録医』とし、登録医の判断で必要時にいつでも入院が可能なシステムである。
詳しくは、国立長寿医療研究センター ホームページよりご覧ください。

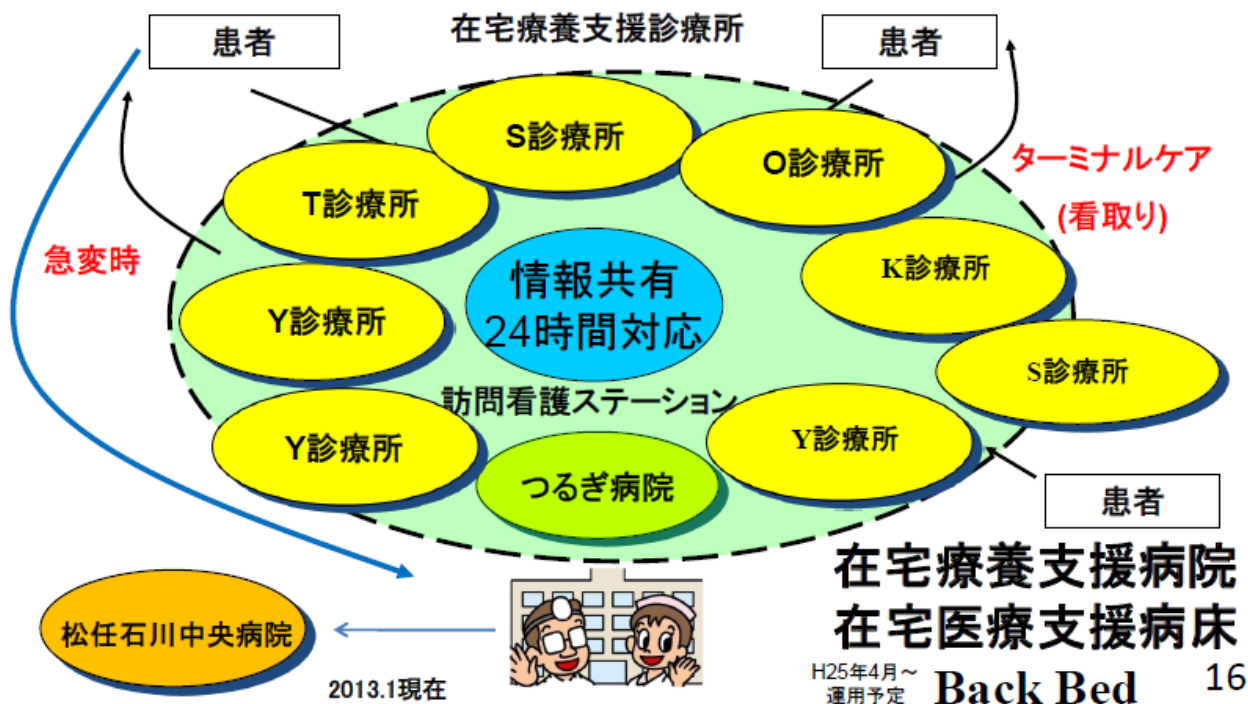
<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku/zaitakusien/byoto/1system.html>

例) 石川県 公立つるぎ病院における後方支援病床設置の取組み (図 26)

B.医療と福祉の連携

在宅医療 診療報酬上で連携

	訪問診療	24時間対応	急変時の対応	ターミナルケア	急変時の入院
連携した在支診	◎	連携で◎	連携で◎	連携で◎	連携で◎



※ 公立つるぎ病院では地域の在宅療養ネットワークの患者の後方支援病院として、専用の病床を確保し、24時間365日支援体制をサポートしている。

円滑な入院受け入れのためのルールやマニュアルの整備、情報提供様式の作成も行った。

例) 大分県 臼杵市医師会立コスモス病院における24時間365日在宅医療提供体制構築への取り組み (図 27)



※ 過疎化が進む臼杵市では、地域のかかりつけ医が平日夜間当番を担当し、平日深夜や土日祝日は当番を病院が担当し、地域の後方支援病院の機能を担っている。
コーディネーター機能も担っており、多職種を集めた担当者会議や事例検討なども行っている。

例) 北海道 夕張市立診療所における24時間365日在宅医療提供体制構築への取り組み (図 28)



※ 高齢化、過疎化が深刻な人口約1万人の夕張市では地域の医療や介護、福祉など在宅療養患者を支援する多職種スタッフが垣根なくカンファレンスに参加し、情報共有や課題の共有を行っている。
24時間365日の支援体制については、医療だけでなく、介護や施設等の役割分担と常日頃からの情報共有によって地域独自の支援体制を構築している。

E. 地域包括支援センター・ケアマネジャーを対象にした支援の実施

内 容

医療知識の十分でない地域包括支援センターやケアマネジャー等の介護サイドの職種に対して、医療知識の提供、相談窓口の設置等により支援を行い、在宅医療・介護連携の円滑化を図るもの

目 的

在宅医療を含む多職種協働においては、特に、介護サイドの職種において医療的な知識が不足していることが連携を困難にしているとの指摘があり、他方、介護職種からは、とりわけ多忙な医師へのアプローチは敷居が高く困難との声が聞かれる。このような状況に対応する支援を行うものである。

留意点

- 具体的手法としては、介護関係者向けの研修の実施により知識レベルの向上を図ることに加え、介護関係者が気軽に医療的相談ができる窓口設置の必要性が高い。
- また、医師がケアマネジャーからの電話等を受ける時間帯（『ケアマネタイム』）を設定し、その一覧を介護側に周知することによって、介護側の、多忙な医師に対する相談への心理的障壁を減らそうとする試みがされている地域もある。
- 介護保険制度の開始をきっかけに全国的に郡市区医師会主導により、多くの地域において医師・ケアマネジャー間のファックス通信が導入された。しかし、長年の経過により、残念ながらこのような通信ルールが機能していない地域がある。現在、これが機能していればさらに強化し、不十分である場合にはその再活用も検討する。
- 前述の医師・ケアマネジャー間のファックス通信のような連携ルールは、定期的に課題を確認した上で是正するシステムを継続することが極めて重要であり、これを怠ると機能を失う場合があることに留意すべきである。

3 療養相談室(高島平地区)	
- 区民支援：相談開始 - 多職種情報収集： - 地域内在宅医、訪問看護ST、介護サービスの受け入れ状況 - 退院支援(スクリーニングシート)・入院支援 - 施設情報：機能リスト付きMAP作成 - 災害MAP：区とハイリスク療養者MAP調整中 - 災害対策：支援調整 衛星電話 発電機 吸引器 - HP公開(医療連携MAP・施設MAP公開)	
療養相談室相談の実績 (平成24年9月～平成25年1月)	
医師会病院より	22件 ・退院調整依頼 ・訪問医の紹介依頼
在宅医より	10件 ・ケアマネの相談 ・吸入器導入について ・在宅医から退院支援相談(2)
地域包括支援センターより	7件 ・退院支援の協力依頼 ・精神疾患の方の支援
他の病院相談室より	4件 ・独居のがん末期の支援相談 ・在宅医相談 ・訪問針灸院相談 ・気管切開、レスピ装着患者の在宅医相談
ケアマネジャーより	4件 ・脊髄損傷患者のサポートについて ・褥瘡が急きょ悪化し、専門医調整
訪問看護STより	3件 ・在宅医紹介依頼
施設より	1件 ・グループホームでの看取りについて
その他	3件 ・在宅看取りの相談 ・開業についての相談
計	54件

例) 大分県 日田市医師会立訪問看護ステーションにおける地域包括支援センター、ケアマネジャーを対象にした支援の取組み (図 31、図 32)

「入院時(退院時)情報提供票」取扱いマニュアルの策定

日田市在宅医療連携にかかる入院時の取扱いについて

在宅病において、患者(利用者)が施設に医療・介護サービスを受けるような医療・介護を受ける状態の継続が可能な状態を維持し、同時に療養生活の安定を図る。医療機関入院時に在宅介護サービスを利用している者や医療機関を退院後、在宅で介護を必要とする者、地域医療連携(以下「介護サービス等」という)を利用すると想定する者が入院する場合は、以下の通り取り扱うものとする。

1-1 介護サービス利用者が入院する場合は

施設ケアマネージャ(以下「ケアマネ」という)は、あらかじめ指定する医療機関で医療機関に入院する場合は、利用者の介護「要する医療機関」を指定、出席する日数(1日となるべく3日以内)に、医療機関指定を記載する。利用者の介護の必要と想定される場合、施設にて介護提供を行う医療機関がケアマネに連絡し、その場合は、施設に連絡、施設に連絡した「入院時情報提供票(書面)」を送付する。

また、入院期間中、必要に応じて、医療機関(加療機関)に利用者へ連絡を依頼することになり、退院時のケアマネとの連絡も必要、出席するよう要する。

◆施設ケアマネが分かる場合、施設「介護保険診療科目番号」3通に2次医療機関が記入されているので、医療機関指定は必要ない(連絡を要する)。

1-2 介護サービス利用者が退院する場合

退院が決定される場合、医療機関で退院後施設ケアマネに連絡する。退院時ケアマネに連絡する場合は、施設に連絡し、施設に連絡した「退院時情報提供票(書面)」を送付する。

2-1 退院後施設で介護サービスを受ける者について

(介護サービスを受ける者が退院していない場合)

医療機関退院後は入院患者の住所から退院する医療機関指定センターに連絡し、退院時ケアマネに連絡する必要があるが利用している退院後、連絡する。

連絡を要する場合は施設指定センターに、施設ケアマネに連絡、その場合は施設ケアマネに連絡する場合は施設指定センターに、退院、退院時連絡を要する。

また、その場合は、別に定める「入院時(退院時)情報提供票(書面)」を医療機関指定センターに送付する。(「書面」を医療機関、必要)

3. 効率的な医療提供のための多職種連携

(1) 地域包括支援センター会議への参加

- 地域包括支援センターの会議に参加し、包括の活動内容の理解と訪問看護ステーションの利用を提案
- 個別の地域包括支援センターへの訪問(予定)

(2) 在宅医療連携交流会の開催

- 連携ツール等の運用には、関係者の相互理解と信頼関係の構築が重要であることから、「連携ツール等の説明会と併せて、在宅医療連携交流会を開催
- 日時：平成24年 11月6日
- 内容：・「入院時(退院時)情報提供票」取扱いマニュアル等の説明
 - ・参加者による名刺交換会
- 参加者：医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネ等 102名が参加



30

例)岡山県 新見医師会における地域連携パスの取組み (図 35)

新見版情報共有書(地域連携バス) 入力版 H24.9修正									
年月日		あて先・所属等		発信者・施設・所属等		備考(添付書類等)			
フリガナ		生年月日							
患者氏名		() 歳		性別					
自由記載欄(入院日・退院日・経過・留意事項等)									
かかりつけ医療機関 (主な病名や内服薬・既往歴・経過・通院・住居の予定・ケアプランや在宅療養に必要な項目・感染症の有無等について) 通院・住居の予定									
既往歴				感染症の有無 ...					
経過				内服薬・その他					
リハビリの必要性・留意内容等 ...				介護サービスの利用の必要性					
検査項目									
検査日		血清アルブミン		g/dl		総コレステロール		mg/dl	
()		ヘモグロビン		g/dl		血圧		mmHg	
血液検査		血糖値		mg/dl		体重		kg	
医療機関		特記事項		身長		cm			
()									
日常生活への支障の有無									
視力 ...		聴力 ...		認知機能 ...		日常生活 ...		日常生活 ...	
歩行 ...		食事・薬物管理 ...		その他精神・神経疾患 ...		認知機能 ...		日常生活 ...	
運動系評価(前導等) ...									
()									
(家族の状況) (キーパーソン)									
続柄									
電話番号									
携帯									
住所									
経済									
(介護者の身体状況及び留意事項)									
①食事									
②排泄									
③移動									
④その他									
⑤その他									
⑥その他									
⑦その他									
⑧その他									
⑨その他									
⑩その他									
⑪その他									
⑫その他									
⑬その他									
⑭その他									
⑮その他									
⑯その他									
⑰その他									
⑱その他									
⑲その他									
⑳その他									
㉑その他									
㉒その他									
㉓その他									
㉔その他									
㉕その他									
㉖その他									
㉗その他									
㉘その他									
㉙その他									
㉚その他									
㉛その他									
㉜その他									
㉝その他									
㉞その他									
㉟その他									
㊱その他									
㊲その他									
㊳その他									
㊴その他									
㊵その他									
㊶その他									
㊷その他									
㊸その他									
㊹その他									
㊺その他									
㊻その他									
㊼その他									
㊽その他									
㊾その他									
㊿その他									

※ 新見医師会は、地域の多職種の情報共有を目的として、対象者の個々に医療・介護情報を包括する地域連携パスを作成し、実際に運用している。

G. 地域住民への普及・啓発

内容・目的

- 在宅医療・介護の連携が円滑に進んでいくためには、医療・介護関係者の連携・努力だけではなく、何よりも患者や家族が在宅医療についてよく理解して選択することが基本となる。
- 今後、各地域において医療・介護の支援が必要とされる高齢住民が増加することが見込まれており、地域住民にも在宅での療養介護に関する理解を促していただくことが必要である。

留意点

- 具体的には、退院後の生活や在宅での看取りなどについての情報提供媒体の作成や、寸劇なども活用した理解しやすい啓発活動、地域特有の情報発信ツールを活用した情報提供等を展開することが重要である。

例) 東京都 板橋区医師会における地域住民への普及啓発活動の取組み (図 36、図 37)



※ 板橋区医師会は、区民公開講座で寸劇を用いた在宅医療の啓発活動を行っている。

例) 熊本県 熊本市における地域住民への普及啓発活動の取組み (図 38)

4. 市民啓発

○ 市政テレビ広報番組「興味しんしん家族」

- ・タイトル「在宅医療を知っていますか？」

- ・放送日

平成24年12月19日(水)

午後7時53分～8時



- ・内 容

在宅医、家族からのコメント

訪問診療の様子

○ ポスター、リーフレット等の作成

27

※ 熊本市は、一般市民への啓発に、市政テレビ広報番組を利用している。

例) 和歌山県 すさみ町における地域住民への普及啓発活動の取組み (図 39)

啓蒙活動② 公報の利用

身近な話題を中心に医学知識を持ってもらうことを目標とする



※すさみ町は、町報を活用した住民への情報発信を行っている。

H. 年間事業計画

内 容

- 推進協議会の開催等を経て把握された、地域の現状・課題及びこれに関する対応方針を踏まえ、市町村における事業計画を策定する。

目 的

- 在宅医療・介護連携は、市町村当局に加え、医師、歯科医師等の医療関係職種、ケアマネジャー、介護事業者等数多くの主体が関わる事業であり、推進協議会における検討や合意の集大成（実施・検討事項、スケジュール、役割分担等）を可視化し、進捗管理ができるようにしておくことが重要である。

留意点

- 解決策から具体的な在宅医療・介護連携推進に関する事業計画を策定し、一定期間において実施する事業の内容や、関係主体間の役割分担を明確にする。
- 事業計画に盛り込むべき事項は、推進協議会の場で検討することとなるが、例えば以下のような事項が考えられる。

A～Hの事項及びこれら以外に当該地域で取り組む事項それぞれについて

- ① 実施内容について検討するものについては、検討委員会等の構成や検討スケジュールなど
- ② 実施するものについては、回数や時期、役割分担など
- 策定した事業計画は、推進状況を確認し、見直しを図り、さらに推進するというサイクルを経るべきことは当然であり、特に多職種の参加が不可欠な本事業においてはその必要性は高い。
- また、本事業の質と効果を評価する指標について、あらかじめ検討する必要がある。具体的には、在宅医療・介護連携の体制（構造）、支援内容（過程）などがある。また、その効果（結果）として、市町村と地域の医師会との協働による「在宅医療に参画するかかりつけ医師数」や、高齢者が最期まで住み慣れた地域で暮らすための体制と支援による「在宅看取り率（数）」などが挙げられる。

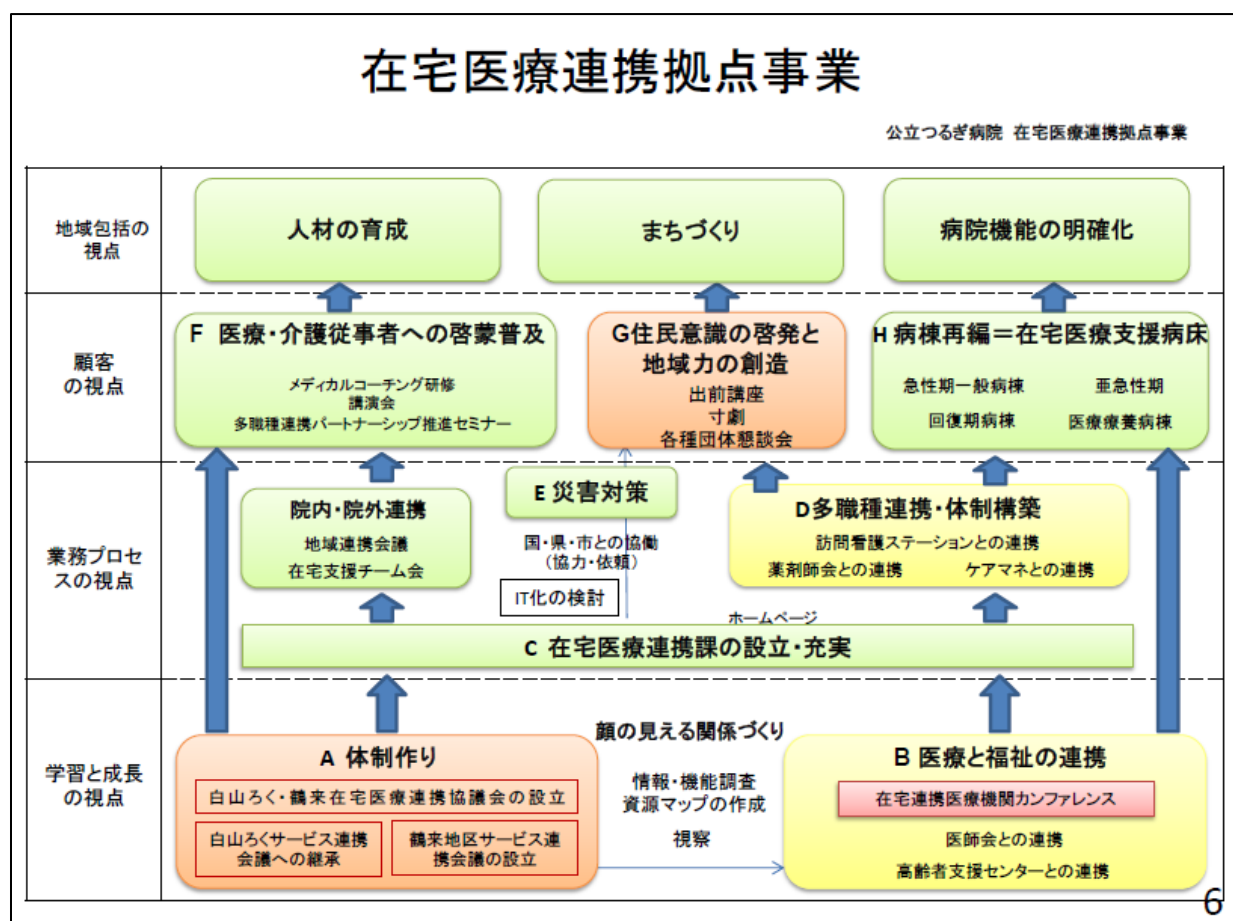
（参照）

平成25年10月22日 平成25年度在宅医療・介護連携推進事業研修会資料

『客観評価を考慮した指標のモニタリング』

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/jinzaiikusei/2013/kogi5_1022_oshima.pdf

例) 石川県 公立つるぎ病院における事業計画 (図 40、図 41)



6

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 事業計画書・報告書

拠点事業所名 白山石川医療企業園 公立つる病院

ミッション 顔の見える関係から信頼関係の構築	目的	地域包括ケアシステムの構築	課題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	数値目標	結果
事業内容		具体的内容															
A1	白山ろく・鶴来在宅医療連携協議会	白山ろく地区、鶴来地区において在宅医療を必要とする人が安心して医療・介護サービスを受けられるよう、地域での多職種連携による包括的かつ継続的な在宅医療の提供体制を構築する。	「白山ろくサービス連携協議会」及び「鶴来地区サービス連携協議会」の円滑な推進を図る。	連携期間												年3回 参加者 64名	3回開催 参加者 64名
A2	白山ろくサービス連携会議	白山ろくの住民が安心して療養・生活を送ることができるよう、多職種が連携し在宅医療を支えるためのネットワークとシステムの構築を図る。	・症例検討 ・地域でのサービス提供に係る課題を抽出し、解決に努める。 ・参加機関間の相互理解を深める。	医療技術、介護技術の向上 地域力の向上												年8回 参加人数 100人 症例検討 6件	8回開催 参加者 112名 症例6例
A3	鶴来地区サービス連携会議	鶴来地区で在宅医療を必要とする人が安心して療養・生活を送ることができるよう、多職種が連携し在宅医療を支えるためのネットワークとシステムの構築を図る。	・多職種・他機関での情報共有についての検討 ・症例検討 ・地域でのサービス提供に係る課題を抽出し、解決に努める。 ・他機関間の相互理解を深める。	医療技術、介護技術の向上 地域力の向上												年6回 参加人数 170名 症例検討 12件	6回開催 参加者 170名 症例5例
B4	在宅連携医療機関カンファレンス	・施設基準の確保 ・連携医療機関での定期的な情報交換・情報の共有 ・24時間連携の構築 ・在宅医療の質の向上	カンファレンス内容の充実 課題の共有と解決 ・症例検討による情報の共有 ・在宅患者データの標準化形式の作成と運用	診療報酬、強化型在宅医療 ・在宅患者データの標準化形式の作成と運用 施設基準の提出を行う。												年12回 参加者 189名 症例24例	12回開催 参加者 189名 症例24例

例) 石川県 公立つるぎ病院における事業計画 (図 42、図 43)

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 事業計画書・報告書

拠点事業所名 白山石川医療企業団 公立つるぎ病院

ミッション 顔の見える関係から信頼関係の構築	目的	具体的内容	地域包括ケアシステムの構築	地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	数値目標	結果
事業内容																		
B5	国・県・市の支援、協力	在宅医療・介護あんしん2012	国・石川県・白山市の支援協力 石川県中央保健福祉センター	在宅医療拠点事業への協力依頼 市 国 県	在宅医療連携推進会議 1日 白山石川医療企業団 在宅医療連携推進会議 14日 白山石川医療企業団 在宅医療連携推進会議													(計画) 県 3回/年 市 5回/年
B6	白山市高齢者支援センターとの連携	医療・福祉・保健にわたる様々な支援	白山市高齢者支援センター(地域包括支援センター)管理業務等と拠点との定期ミーティングを行う 医療支援 栄養士 在宅医療推進委員会白山市助産師との連携 課題の抽出と解決	・地域の課題の抽出・解決策の検討 ・行政サイドからの情報提供 ・資源の有効活用 医療支援 栄養士 在宅医療推進委員会白山市助産師との連携 課題の抽出と解決	訪問開始 2日、22日	2日 定期ミーティング 5日 定期ミーティング	27日 行政・地域・高齢者支援センター 連携会議 28日 在宅医療推進会議	9日 定期ミーティング 14日 定期ミーティング	25日 定期ミーティング 23日 定期ミーティング	5日 定期ミーティング							年10回	9回
B7	医師会との連携	医師会との協働 国・県・都市	情報提供・協力 多職種連携の協力依頼、在宅医療推進の協力依頼	情報の共有化 在宅医療推進事業の負担軽減	18日 県医師会訪問 22日 市医師会訪問 23日 市医師会訪問													年12回
B8	訪問看護ステーションとの連携	24時間体制・相互補完体制の構築と円滑な連携	システムの建立 白山石川訪問看護ステーション	白山石川訪問看護ステーション 白山石川訪問看護ステーション	20日 在宅医療連携推進会議 23日 在宅医療連携推進会議													年5回 6回
9	ケアマネジャーとの連携	協働・多職種連携の協力依頼 在宅医療推進の協力依頼	在宅医療推進事業との連携 ・CNH(ケアナビ)・訪問看護ステーション・病院との意見交換の「場」の設定	在宅医療推進事業の負担軽減	在宅医療連携推進事業の説明会 27日 行政・地域・高齢者支援センター 連携会議													年6回 3回
10	薬剤師会との連携	多職種連携の協力依頼、在宅医療推進の協力依頼	在宅医療への参画 訪問看護ステーションモデル作り	地域在宅医療推進の支援 医療的支援	在宅医療連携推進事業の説明会 27日 行政・地域・高齢者支援センター 連携会議													年6回 2回

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 事業計画書・報告書																	
ミッション 顔の見える関係から信頼関係の構築				地域包括ケアシステムの構築				拠点事業所名 白山石川医療企業団 公立つるぎ病院									
事業内容	目的	具体的内容	種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	数値目標	結果
F11 人材育成 在宅医療・介護を担う人材の育成	専門的知識を活かし連携を深め、地域リーダーを育成する。	県立看護大学との連携	人材育成	28日 メディカルサポート 29日 メディカルサポート 30日 メディカルサポート		8日 看護大学訪問		8日 第1回多職種連携 第2回多職種連携 第3回多職種連携 第4回多職種連携 第5回多職種連携 第6回多職種連携 第7回多職種連携 第8回多職種連携 第9回多職種連携 第10回多職種連携 第11回多職種連携 第12回多職種連携 第13回多職種連携 第14回多職種連携 第15回多職種連携 第16回多職種連携 第17回多職種連携 第18回多職種連携 第19回多職種連携 第20回多職種連携 第21回多職種連携 第22回多職種連携 第23回多職種連携 第24回多職種連携 第25回多職種連携 第26回多職種連携 第27回多職種連携 第28回多職種連携 第29回多職種連携 第30回多職種連携 第31回多職種連携 第32回多職種連携 第33回多職種連携 第34回多職種連携 第35回多職種連携 第36回多職種連携 第37回多職種連携 第38回多職種連携 第39回多職種連携 第40回多職種連携 第41回多職種連携 第42回多職種連携 第43回多職種連携 第44回多職種連携 第45回多職種連携 第46回多職種連携 第47回多職種連携 第48回多職種連携 第49回多職種連携 第50回多職種連携 第51回多職種連携 第52回多職種連携 第53回多職種連携 第54回多職種連携 第55回多職種連携 第56回多職種連携 第57回多職種連携 第58回多職種連携 第59回多職種連携 第60回多職種連携 第61回多職種連携 第62回多職種連携 第63回多職種連携 第64回多職種連携 第65回多職種連携 第66回多職種連携 第67回多職種連携 第68回多職種連携 第69回多職種連携 第70回多職種連携 第71回多職種連携 第72回多職種連携 第73回多職種連携 第74回多職種連携 第75回多職種連携 第76回多職種連携 第77回多職種連携 第78回多職種連携 第79回多職種連携 第80回多職種連携 第81回多職種連携 第82回多職種連携 第83回多職種連携 第84回多職種連携 第85回多職種連携 第86回多職種連携 第87回多職種連携 第88回多職種連携 第89回多職種連携 第90回多職種連携 第91回多職種連携 第92回多職種連携 第93回多職種連携 第94回多職種連携 第95回多職種連携 第96回多職種連携 第97回多職種連携 第98回多職種連携 第99回多職種連携 第100回多職種連携 第101回多職種連携 第102回多職種連携 第103回多職種連携 第104回多職種連携 第105回多職種連携 第106回多職種連携 第107回多職種連携 第108回多職種連携 第109回多職種連携 第110回多職種連携 第111回多職種連携 第112回多職種連携 第113回多職種連携 第114回多職種連携 第115回多職種連携 第116回多職種連携 第117回多職種連携 第118回多職種連携 第119回多職種連携 第120回多職種連携 第121回多職種連携 第122回多職種連携 第123回多職種連携 第124回多職種連携 第125回多職種連携 第126回多職種連携 第127回多職種連携 第128回多職種連携 第129回多職種連携 第130回多職種連携 第131回多職種連携 第132回多職種連携 第133回多職種連携 第134回多職種連携 第135回多職種連携 第136回多職種連携 第137回多職種連携 第138回多職種連携 第139回多職種連携 第140回多職種連携 第141回多職種連携 第142回多職種連携 第143回多職種連携 第144回多職種連携 第145回多職種連携 第146回多職種連携 第147回多職種連携 第148回多職種連携 第149回多職種連携 第150回多職種連携 第151回多職種連携 第152回多職種連携 第153回多職種連携 第154回多職種連携 第155回多職種連携 第156回多職種連携 第157回多職種連携 第158回多職種連携 第159回多職種連携 第160回多職種連携 第161回多職種連携 第162回多職種連携 第163回多職種連携 第164回多職種連携 第165回多職種連携 第166回多職種連携 第167回多職種連携 第168回多職種連携 第169回多職種連携 第170回多職種連携 第171回多職種連携 第172回多職種連携 第173回多職種連携 第174回多職種連携 第175回多職種連携 第176回多職種連携 第177回多職種連携 第178回多職種連携 第179回多職種連携 第180回多職種連携 第181回多職種連携 第182回多職種連携 第183回多職種連携 第184回多職種連携 第185回多職種連携 第186回多職種連携 第187回多職種連携 第188回多職種連携 第189回多職種連携 第190回多職種連携 第191回多職種連携 第192回多職種連携 第193回多職種連携 第194回多職種連携 第195回多職種連携 第196回多職種連携 第197回多職種連携 第198回多職種連携 第199回多職種連携 第200回多職種連携 第201回多職種連携 第202回多職種連携 第203回多職種連携 第204回多職種連携 第205回多職種連携 第206回多職種連携 第207回多職種連携 第208回多職種連携 第209回多職種連携 第210回多職種連携 第211回多職種連携 第212回多職種連携 第213回多職種連携 第214回多職種連携 第215回多職種連携 第216回多職種連携 第217回多職種連携 第218回多職種連携 第219回多職種連携 第220回多職種連携 第221回多職種連携 第222回多職種連携 第223回多職種連携 第224回多職種連携 第225回多職種連携 第226回多職種連携 第227回多職種連携 第228回多職種連携 第229回多職種連携 第230回多職種連携 第231回多職種連携 第232回多職種連携 第233回多職種連携 第234回多職種連携 第235回多職種連携 第236回多職種連携 第237回多職種連携 第238回多職種連携 第239回多職種連携 第240回多職種連携 第241回多職種連携 第242回多職種連携 第243回多職種連携 第244回多職種連携 第245回多職種連携 第246回多職種連携 第247回多職種連携 第248回多職種連携 第249回多職種連携 第250回多職種連携 第251回多職種連携 第252回多職種連携 第253回多職種連携 第254回多職種連携 第255回多職種連携 第256回多職種連携 第257回多職種連携 第258回多職種連携 第259回多職種連携 第260回多職種連携 第261回多職種連携 第262回多職種連携 第263回多職種連携 第264回多職種連携 第265回多職種連携 第266回多職種連携 第267回多職種連携 第268回多職種連携 第269回多職種連携 第270回多職種連携 第271回多職種連携 第272回多職種連携 第273回多職種連携 第274回多職種連携 第275回多職種連携 第276回多職種連携 第277回多職種連携 第278回多職種連携 第279回多職種連携 第280回多職種連携 第281回多職種連携 第282回多職種連携 第283回多職種連携 第284回多職種連携 第285回多職種連携 第286回多職種連携 第287回多職種連携 第288回多職種連携 第289回多職種連携 第290回多職種連携 第291回多職種連携 第292回多職種連携 第293回多職種連携 第294回多職種連携 第295回多職種連携 第296回多職種連携 第297回多職種連携 第298回多職種連携 第299回多職種連携 第300回多職種連携 第301回多職種連携 第302回多職種連携 第303回多職種連携 第304回多職種連携 第305回多職種連携 第306回多職種連携 第307回多職種連携 第308回多職種連携 第309回多職種連携 第310回多職種連携 第311回多職種連携 第312回多職種連携 第313回多職種連携 第314回多職種連携 第315回多職種連携 第316回多職種連携 第317回多職種連携 第318回多職種連携 第319回多職種連携 第320回多職種連携 第321回多職種連携 第322回多職種連携 第323回多職種連携 第324回多職種連携 第325回多職種連携 第326回多職種連携 第327回多職種連携 第328回多職種連携 第329回多職種連携 第330回多職種連携 第331回多職種連携 第332回多職種連携 第333回多職種連携 第334回多職種連携 第335回多職種連携 第336回多職種連携 第337回多職種連携 第338回多職種連携 第339回多職種連携 第340回多職種連携 第341回多職種連携 第342回多職種連携 第343回多職種連携 第344回多職種連携 第345回多職種連携 第346回多職種連携 第347回多職種連携 第348回多職種連携 第349回多職種連携 第350回多職種連携 第351回多職種連携 第352回多職種連携 第353回多職種連携 第354回多職種連携 第355回多職種連携 第356回多職種連携 第357回多職種連携 第358回多職種連携 第359回多職種連携 第360回多職種連携 第361回多職種連携 第362回多職種連携 第363回多職種連携 第364回多職種連携 第365回多職種連携 第366回多職種連携 第367回多職種連携 第368回多職種連携 第369回多職種連携 第370回多職種連携 第371回多職種連携 第372回多職種連携 第373回多職種連携 第374回多職種連携 第375回多職種連携 第376回多職種連携 第377回多職種連携 第378回多職種連携 第379回多職種連携 第380回多職種連携 第381回多職種連携 第382回多職種連携 第383回多職種連携 第384回多職種連携 第385回多職種連携 第386回多職種連携 第387回多職種連携 第388回多職種連携 第389回多職種連携 第390回多職種連携 第391回多職種連携 第392回多職種連携 第393回多職種連携 第394回多職種連携 第395回多職種連携 第396回多職種連携 第397回多職種連携 第398回多職種連携 第399回多職種連携 第400回多職種連携 第401回多職種連携 第402回多職種連携 第403回多職種連携 第404回多職種連携 第405回多職種連携 第406回多職種連携 第407回多職種連携 第408回多職種連携 第409回多職種連携 第410回多職種連携 第411回多職種連携 第412回多職種連携 第413回多職種連携 第414回多職種連携 第415回多職種連携 第416回多職種連携 第417回多職種連携 第418回多職種連携 第419回多職種連携 第420回多職種連携 第421回多職種連携 第422回多職種連携 第423回多職種連携 第424回多職種連携 第425回多職種連携 第426回多職種連携 第427回多職種連携 第428回多職種連携 第429回多職種連携 第430回多職種連携 第431回多職種連携 第432回多職種連携 第433回多職種連携 第434回多職種連携 第435回多職種連携 第436回多職種連携 第437回多職種連携 第438回多職種連携 第439回多職種連携 第440回多職種連携 第441回多職種連携 第442回多職種連携 第443回多職種連携 第444回多職種連携 第445回多職種連携 第446回多職種連携 第447回多職種連携 第448回多職種連携 第449回多職種連携 第450回多職種連携 第451回多職種連携 第452回多職種連携 第453回多職種連携 第454回多職種連携 第455回多職種連携 第456回多職種連携 第457回多職種連携 第458回多職種連携 第459回多職種連携 第460回多職種連携 第461回多職種連携 第462回多職種連携 第463回多職種連携 第464回多職種連携 第465回多職種連携 第466回多職種連携 第467回多職種連携 第468回多職種連携 第469回多職種連携 第470回多職種連携 第471回多職種連携 第472回多職種連携 第473回多職種連携 第474回多職種連携 第475回多職種連携 第476回多職種連携 第477回多職種連携 第478回多職種連携 第479回多職種連携 第480回多職種連携 第481回多職種連携 第482回多職種連携 第483回多職種連携 第484回多職種連携 第485回多職種連携 第486回多職種連携 第487回多職種連携 第488回多職種連携 第489回多職種連携 第490回多職種連携 第491回多職種連携 第492回多職種連携 第493回多職種連携 第494回多職種連携 第495回多職種連携 第496回多職種連携 第497回多職種連携 第498回多職種連携 第499回多職種連携 第500回多職種連携 第501回多職種連携 第502回多職種連携 第503回多職種連携 第504回多職種連携 第505回多職種連携 第506回多職種連携 第507回多職種連携 第508回多職種連携 第509回多職種連携 第510回多職種連携 第511回多職種連携 第512回多職種連携 第513回多職種連携 第514回多職種連携 第515回多職種連携 第516回多職種連携 第517回多職種連携 第518回多職種連携 第519回多職種連携 第520回多職種連携 第521回多職種連携 第522回多職種連携 第523回多職種連携 第524回多職種連携 第525回多職種連携 第526回多職種連携 第527回多職種連携 第528回多職種連携 第529回多職種連携 第530回多職種連携 第531回多職種連携 第532回多職種連携 第533回多職種連携 第534回多職種連携 第535回多職種連携 第536回多職種連携 第537回多職種連携 第538回多職種連携 第539回多職種連携 第540回多職種連携 第541回多職種連携 第542回多職種連携 第543回多職種連携 第544回多職種連携 第545回多職種連携 第546回多職種連携 第547回多職種連携 第548回多職種連携 第549回多職種連携 第550回多職種連携 第551回多職種連携 第552回多職種連携 第553回多職種連携 第554回多職種連携 第555回多職種連携 第556回多職種連携 第557回多職種連携 第558回多職種連携 第559回多職種連携 第560回多職種連携 第561回多職種連携 第562回多職種連携 第563回多職種連携 第564回多職種連携 第565回多職種連携 第566回多職種連携 第567回多職種連携 第568回多職種連携 第569回多職種連携 第570回多職種連携 第571回多職種連携 第572回多職種連携 第573回多職種連携 第574回多職種連携 第575回多職種連携 第576回多職種連携 第577回多職種連携 第578回多職種連携 第579回多職種連携 第580回多職種連携 第581回多職種連携 第582回多職種連携 第583回多職種連携 第584回多職種連携 第585回多職種連携 第586回多職種連携 第587回多職種連携 第588回多職種連携 第589回多職種連携 第590回多職種連携 第591回多職種連携 第592回多職種連携 第593回多職種連携 第594回多職種連携 第595回多職種連携 第596回多職種連携 第597回多職種連携 第598回多職種連携 第599回多職種連携 第600回多職種連携 第601回多職種連携 第602回多職種連携 第603回多職種連携 第604回多職種連携 第605回多職種連携 第606回多職種連携 第607回多職種連携 第608回多職種連携 第609回多職種連携 第610回多職種連携 第611回多職種連携 第612回多職種連携 第613回多職種連携 第614回多職種連携 第615回多職種連携 第616回多職種連携 第617回多職種連携 第618回多職種連携 第619回多職種連携 第620回多職種連携 第621回多職種連携 第622回多職種連携 第623回多職種連携 第624回多職種連携 第625回多職種連携 第626回多職種連携 第627回多職種連携 第628回多職種連携 第629回多職種連携 第630回多職種連携 第631回多職種連携 第632回多職種連携 第633回多職種連携 第634回多職種連携 第635回多職種連携 第636回多職種連携 第637回多職種連携 第638回多職種連携 第639回多職種連携 第640回多職種連携 第641回多職種連携 第642回多職種連携 第643回多職種連携 第644回多職種連携 第645回多職種連携 第646回多職種連携 第647回多職種連携 第648回多職種連携 第649回多職種連携 第650回多職種連携 第651回多職種連携 第652回多職種連携 第653回多職種連携 第654回多職種連携 第655回多職種連携 第656回多職種連携 第657回多職種連携 第658回多職種連携 第659回多職種連携 第660回多職種連携 第661回多職種連携 第662回多職種連携 第663回多職種連携 第664回多職種連携 第665回多職種連携 第666回多職種連携 第667回多職種連携 第668回多職種連携 第669回多職種連携 第670回多職種連携 第671回多職種連携 第672回多職種連携 第673回多職種連携 第674回多職種連携 第675回多職種連携 第676回多職種連携 第677回多職種連携 第678回多職種連携 第679回多職種連携 第680回多職種連携 第681回多職種連携 第682回多職種連携 第683回多職種連携 第684回多職種連携 第685回多職種連携 第686回多職種連携 第687回多職種連携 第688回多職種連携 第689回多職種連携 第690回多職種連携 第691回多職種連携 第692回多職種連携 第693回多職種連携 第694回多職種連携 第695回多職種連携 第696回多職種連携 第697回多職種連携 第698回多職種連携 第699回多職種連携 第700回多職種連携 第701回多職種連携 第702回多職種連携 第703回多職種連携 第704回多職種連携 第705回多職種連携 第706回多職種連携 第707回多職種連携 第708回多職種連携 第709回多職種連携 第710回多職種連携 第711回多職種連携 第712回多職種連携 第713回多職種連携 第714回多職種連携 第715回多職種連携 第716回多職種連携 第717回多職種連携 第718回多職種連携 第719回多職種連携 第720回多職種連携 第721回多職種連携 第722回多職種連携 第723回多職種連携 第724回多職種連携 第725回多職種連携 第726回多職種連携 第727回多職種連携 第728回多職種連携 第729回多職種連携 第730回多職種連携 第731回多職種連携 第732回多職種連携 第733回多職種連携 第734回多職種連携 第735回多職種連携 第736回多職種連携 第737回多職種連携 第738回多職種連携 第739回多職種連携 第740回多職種連携 第741回多職種連携 第742回多職種連携 第743回多職種連携 第744回多職種連携 第745回多職種連携 第746回多職種連携 第747回多職種連携 第748回多職種連携 第749回多職種連携 第750回多職種連携 第751回多職種連携 第752回多職種連携 第753回多職種連携 第754回多職種連携 第755回多職種連携 第756回多職種連携 第757回多職種連携 第758回多職種連携 第759回多職種連携 第760回多職種連携 第761回多職種連携 第762回多職種連携 第763回多職種連携 第764回多職種連携 第765回多職種連携 第766回多職種連携 第767回多職種連携 第768回多職種連携 第769回多職種連携 第770回多職種連携 第771回多職種連携 第772回多職種連携 第773回多職種連携 第774回多職種連携 第775回多職種連携 第776回多職種連携 第777回多職種連携 第778回多職種連携 第779回多職種連携 第780回多職種連携 第781回多職種連携 第782回多職種連携 第783回多職種連携 第784回多職種連携 第785回多職種連携 第786回多職種連携 第787回多職種連携 第788回多職種連携 第789回多職種連携 第790回多職種連携 第791回多職種連携 第792回多職種連携 第793回多職種連携 第794回多職種連携 第795回多職種連携 第796回多職種連携 第797回多職種連携 第798回多職種連携 第799回多職種連携 第800回多職種連携 第801回多職種連携 第802回多職種連携 第803回多職種連携 第804回多職種連携 第805回多職種連携 第806回多職種連携 第807回多職種連携 第808回多職種連携 第809回多職種連携 第810回多職種連携 第811回多職種連携 第812回多職種連携 第813回多職種連携 第814回多職種連携 第815回多職種連携 第816回多職種連携 第817回多職種連携 第818回多職種連携 第819回多職種連携 第820回多職種連携 第821回多職種連携 第822回多職種連携 第823回多職種連携 第824回多職種連携 第825回多職種連携 第826回多職種連携 第827回多職種連携 第828回多職種連携 第829回多職種連携 第830回多職種連携 第831回多職種連携 第832回多職種連携 第833回多職種連携 第834回多職種連携 第835回多職種連携 第836回多職種連携 第837回多職種連携 第838回多職種連携 第839回多職種連携 第840回多職種連携 第841回多職種連携 第842回多職種連携 第843回多職種連携 第844回多職種連携 第845回多職種連携 第846回多職種連携 第847回多職種連携 第848回多職種連携 第849回多職種連携 第850回多職種連携 第851回多職種連携 第852回多職種連携 第853回多職種連携 第854回多職種連携 第855回多職種連携 第856回多職種連携 第857回多職種連携 第858回多職種連携 第859回多職種連携 第860回多職種連携 第861回多職種連携 第862回多職種連携 第863回多職種連携 第864回多職種連携 第865回多職種連携 第866回多職種連携 第867回多職種連携 第868回多職種連携 第869回多職種連携 第870回多職種連携 第871回多職種連携 第872回多職種連携 第873回多職種連携 第874回多職種連携 第875回多職種連携 第876回多職種連携 第877回多職種連携 第878回多職種連携 第879回多職種連携 第880回多職種連携 第881回多職種連携 第882回多職種連携 第883回多職種連携 第884回多職種連携 第885回多職種連携 第886回多職種連携 第887回多職種連携 第888回多職種連携 第889回多職種連携 第890回多職種連携 第891回多職種連携 第892回多職種連携 第893回多職種連携 第894回多職種連携 第895回多職種連携 第896回多職種連携 第897回多職種連携 第898回多職種連携 第899回多職種連携 第900回多職種連携 第901回多職種連携 第902回多職種連携 第903回多職種連携 第904回多職種連携 第905回多職種連携 第906回多職種連携 第907回多職種連携 第908回多職種連携 第909回多職種連携 第910回多職種連携 第911回多職種連携 第912回多職種連携 第913回多職種連携 第914回多職種連携 第915回多職種連携 第916回多職種連携 第917回多職種連携 第918回多職種連携 第919回多職種連携 第920回多職種連携 第921回多職種連携 第922回多職種連携 第923回多職種連携 第924回多職種連携 第925回多職種連携 第926回多職種連携 第927回多職種連携 第928回多職種連携 第929回多職種連携 第930回多職種連携 第931回多職種連携 第932回多職種連携 第933回多職種連携 第934回多職種連携 第935回多職種連携 第936回多職種連携 第937回多職種連携 第938回多職種連携 第939回多職種連携 第940回多職種連携 第941回多職種連携 第942回多職種連携 第943回多職種連携 第944回多職種連携 第945回多職種連携 第946回多職種連携 第947回多職種連携 第948回多職種連携 第949回多職種連携 第950回多職種連携 第951回多職種連携 第952回多職種連携 第953回多職種連携 第954回多職種連携 第955回多職種連携 第956回多職種連携 第957回多職種連携 第958回多職種連携 第959回多職種連携 第960回多職種連携 第961回多職種連携 第962回多職種連携 第963回多職種連携 第964回多職種連携 第965回多職種連携 第966回多職種連携 第967回多職種連携 第968回多職種連携 第969回多職種連携 第970回多職種連携 第971回多職種連携 第972回多職種連携 第973回多職種連携 第974回多職種連携 第975回多職種連携 第976回多職種連携 第977回多職種連携 第978回多職種連携 第979回多職種連携 第980回多職種連携 第981回多職種連携 第982回多職種連携 第983回多職種連携 第984回多職種連携 第985回多職種連携 第986回多職種連携 第987回多職種連携 第988回多職種連携 第989回多職種連携 第990回多職種連携 第991回多職種連携 第992回多職種連携 第993回多職種連携 第994回多職種連携 第995回多職種連携 第996回多職種連携 第997回多職種連携 第998回多職種連携 第999回多職種連携 第1000回多職種連携 第1001回多職種連携 第1002回多職種連携 第1003回多職種連携 第1004回多職種連携 第1005回多職種連携 第1006回多職種連携 第1007回多職種連携 第1008回多職種連携 第1009回多職種連携 第1010回多職種連携 第1011回多職種連携 第1012回多職種連携 第1013回多職種連携 第1014回多職種連携 第1015回多職種連携 第1016回多職種連携 第1017回多職種連携 第1018回多職種連携 第1019回多職種連携 第1020回多職種連携 第1021回多職種連携 第1022回多職種連携 第1023回多職種連携 第1024回多職種連携 第1025回多職種連携 第1026回多職種連携 第1027回多職種連携 第1028回多職種連携 第1029回多職種連携 第1030回多職種連携 第1031回多職種連携 第1032回多職種連携 第1033回多職種連携 第1034回多職種連携 第1035回多職種連携 第1036回多職種連携 第1037回多職種連携 第1038回多職種連携 第1039回多職種連携 第1040回多職種連携 第1041回多職種連携 第1042回多職種連携 第1043回多職種連携 第1044回多職種連携 第1045回多職種連携 第1046回多職種連携 第1047回多職種連携 第1048回多職種連携 第1049回多職種連携 第1050回多職種連携 第1051回多職種連携 第1052回多職種連携 第1053回多職種連携 第1054回多職種連携 第1055回多職種連携 第1056回多職種連携 第1057回多職種連携 第1058回多職種連携 第1059回多職種連携 第1060回多職種連携 第1061回多職種連携 第1062回多職種連携 第1063回多職種連携 第1064回多職種連携 第1065回多職種連携 第1066回多職種連携 第1067回多職種連携 第1068回多職種連携 第1069回多職種連携 第1070回多職種連携 第1071回多職種連携 第1072回多職種連携 第1073回多職種連携 第1074回多職種連携 第1075回多職種連携 第1076回多職種連携 第1077回多職種連携 第1078回多職種連携 第1079回多職種連携 第1080回多職種連携 第1081回多職種連携 第1082回多職種連携 第1083回多職種連携 第1084回多職種連携 第1085回多職種連携 第1086回多職種連携 第1087回多職種連携 第1088回多職種連携 第1089回多職種連携 第1090回多職種連携 第1091回多職種連携 第1092回多職種連携 第1093回多職種連携 第1094回多職種連携 第1095回多職種連携 第1096回多職種連携 第1097回多職種連携 第1098回多職種連携 第1099回多職種連携 第1100回多職種連携 第1101回多職種連携 第1102回多職種連携 第1103回多職種連携 第1104回多職種連携 第1105回多職種連携 第1106回多職種連携 第1107回多職種連携 第1108回多職種連携 第1109回多職種連携 第1110回多職種連携 第1111回多職種連携 第1112回多職種連携 第1113回多職種連携 第1114回多職種連携 第1115回多職種連携 第1116回多職種連携 第1117回多職種連携 第1118回多職種連携 第1119回多職種連携 第1120回多職種連携 第1121回多職種連携 第1122回多職種連携 第1123回多職種連携 第1124回多職種連携 第1125回多職種連携 第1126回多職種連携 第1127回多職種連携 第1128回多職種連携 第1129回多職種連携 第1130回多職種連携 第1131回多職種連携 第1132回多職種連携 第1133回多職種連携 第1134回多職種連携 第1135回多職種連携 第1136回多職種連携 第1137回多職種連携 第1138回多職種連携 第1139回多職種連携 第1140回多職種連携 第1141回多職種連携 第1142回多職種連携 第1143回多職種連携 第1144回多職種連携 第1145回多職種連携 第1146回多職種連携 第1147回多職種連携 第1148回多職種連携 第1149回多職種連携 第1150回多職種連携 第1151回多職種連携 第1152回多職種連携 第1153回多職種連携 第1154回多職種連携 第1155回多職種連携 第1156回多職種連携 第1157回多職種連携 第1158回多職種連携 第1159回多職種連携 第1160回多職種連携 第1161回多職種連携 第1162回多職種連携 第1163回多職種連携 第1164回多職種連携 第1165回多職種連携 第1166回多職種連携 第1167回多職種連携 第1168回多職種連携 第1169回多職種連携 第1170回多職種連携 第1171回多職種連携 第1172回多職種連携 第1173回多職種連携 第1174回多職種連携 第1175回多職種連携 第1176回多職種連携 第1177回多職種連携 第1178回多職種連携 第1179回多職種連携 第1180回多職種連携 第1181回多職種連携 第1182回多職種連携 第1183回多職種連携 第1184回多職種連携 第1185回多職種連携 第1186回多職種連携 第1187回多職種連携 第1188回多職種連携 第1189回多職種連携 第1190回多職種連携 第1191回多職種連携 第1192回多職種連携 第1193回多職種連携 第1194回多職種連携 第1195回									

例) 石川県 公立つるぎ病院における事業計画 (図 44)

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 事業計画書・報告書																	拠点事業所名 白山石川医療企業団 公立つるぎ病院																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ミッション 誰の見える関係から信頼関係の構築			地域包括ケアシステムの構築																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
事業内容	目的	具体的内容	施策	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	数値目標	結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
15	ホームページ	情報の配信	病院ホームページ内に開設					企画会議		運用開始				更新																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
16	情報共有システム	異なる機関の他職種が患者のニーズに応じた質の高い医療・介護サービスを提供できるように情報の共有化を図る。	情報共有ツールの検討	在宅医療従事者の負担軽減	共通カルテの検討	紙カルテの運用検討	共有開始	在宅医療従事者(医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー)の意見交換。院内・院外連携。公立つるぎ病院								更新見直し回数 3回以上	2回																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					全県域レベル	医療圏レベル 地域情報連携	新市圏域レベル 日常生活圏包括レベル	検討開始	情報の公開	9月来 ID-Card導入の意向報告	※タブレット型PC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
18	イベント企画 講演会、研修会	在宅医療のそとに浸透する他職種の役割・機能等について紹介する。在宅医療に関する知識の向上、他職種間の相互理解を深める。	・講演会・小グループ勉強会実施 ・在宅医療の小冊子の作成、マップの作成	行政・住民の協力 他職種間の協働	28日 メディカルサポートコーディネーター研修				「寸劇・講演会」企画	25日 寸劇・講演会						大規模 2回 小規模 4回	大規模 2回 小規模 2回																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								在宅医療診療プロデュース 医療機関「連携」の促進 創設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
19	地域関連情報提供、機能開発	地域資源の共有 効率的な活用の仕組み作り	マップの作成	各機関には情報があるが、①共有されていない ②活用されていない ③更新されていない	情報の収集				フォーマットの作成							配布数 10,000部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				「マップの作成」内容の他、他機関との連携																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
21	院内連携	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要	医療政策の基本方向として「入院と外来の連携」だけでなく、在宅を含む新しいジャンルの連携が必要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

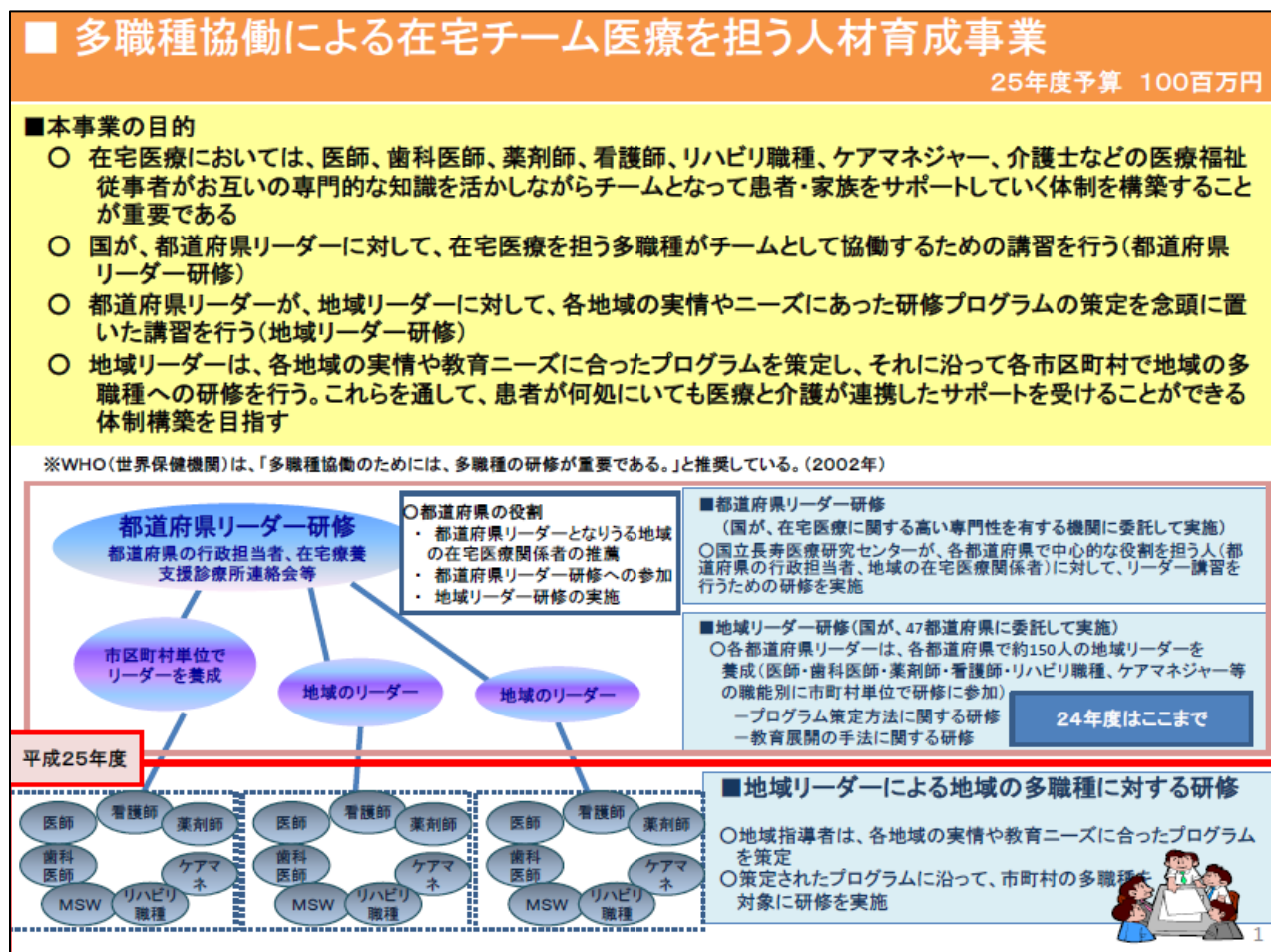
※ 公立つるぎ病院では、地域包括ケアシステム構築に向け、拠点として様々な視点から取り組む課題を明確にし、具体的なアクションプランを立てて実行した。

4 今後に向けて

(1) 市町村事業のさらなる向上のために

- 在宅医療の推進については、各地の医療機関において先進的な取組みが進められてきたが、国の施策として「在宅医療連携拠点事業」が進められたのは、平成 23・24 年度のことである。市町村と地域医師会が中心となって面的な在宅医療・介護連携を推進する動きは、まだ定まった進め方が確立しているわけではなく、各地で多様な試みがなされているのが現状である。
- 各市町村において事業を進めていくに当たっては、先行地域における取組みの実情等を積極的に吸収し、それぞれの市町村の実情に合わせた検討の基礎とすることが必要である。
- 厚生労働省においては、平成 24 年度、(独)国立長寿医療研究センターに委託して実施した都道府県リーダー研修の成果を各地において展開することとしているので、これに基づく研修等が各都道府県で実施される場合には、積極的に参加すべきである。また、他の研修・セミナー等の機会を活用したり、各種資料の閲覧、視察を行う等により知見を広めたりして、それぞれの地域での在宅医療・介護連携推進体制の構築につなげていきたい。

図 45



(2) 制度改革の動向

- 冒頭にもあるように、政府の「社会保障制度改革国民会議」は、平成 25 年 8 月 6 日に報告書を取りまとめた。

社会保障制度改革国民会議報告書

(概要) http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo_gaiyou.pdf

(全文) <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo.pdf>

- これを受けて、厚生労働省の関係審議会においては、介護保険事業あるいは医療提供体制の改革についての検討が進められているところである。今後の事業運営や将来設計においては、このような制度改革の動向が大きく影響することはいうまでもないことであるので、これら審議会の動向等にも十分注意しておくことが必要である。

厚生労働省 社会保障審議会

医療部会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126719>

介護保険部会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126734>

資料 1) 各市町村の取組みに関する図表等の出典一覧

図 1 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
津島市, P4.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/06055156.pdf

図 2 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,
肝属郡医師会立病院, P36.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/08102272_ppt.pdf

図 3 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
津島市, P5.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/06055156.pdf

図 4 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
熊本市, P6.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11096264.pdf

図 5 鹿児島県庁ホームページ(アクセス 2013 年 10 月 28 日)

<http://www.pref.kagoshima.jp/ab02/soshiki/hoken/honcho/kaigo.html>

図 6 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
横手市地域包括支援センター, P9.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/01012025.pdf

図 7 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
坂井地区広域連合, P7.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/05043117.pdf

図 8 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
日本医療伝道会, P12.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04034100.pdf

図 9-14 柏市保健福祉部福祉政策室(2013). 柏市における長寿社会のまちづくり～豊四季台プロジェクト～.

図 15 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
中部地区医師会, P7.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11104276.pdf

図 16 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
宗像医師会, P24.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/10090255.pdf

図 17 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
宗像医師会, P25.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/10090255.pdf

- 図 18 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
石巻市立開成仮診療所, P11.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/02008016.pdf
- 図 19-23 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,
オレンジホームケアクリニック, P11, 12, 14-16.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/04045119_ppt.pdf
- 図 24 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
柏市, P6.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04028061.pdf
- 図 25 国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部ホームページ(アクセス 2013 年 11 月 26 日)
<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/zaitakusien/byoto/1system.html>
- 図 26 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
公立つるぎ病院, P16.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/05042116.pdf
- 図 27 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,
臼杵市医師会立コスモス病院, P5.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/08097266_ppt.pdf
- 図 28 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,
夕張市立診療所, P5.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/01003008_ppt.pdf
- 図 29-30 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
板橋区医師会, P31, P33.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04031081.pdf
- 図 31-32 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,
日田市医師会立訪問看護ステーション, P15, P23.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/08098267_ppt.pdf
- 図 33-34 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
鶴岡地区医師会, P15-P16.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/02014029.pdf
- 図 35 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
新見医師会まんさく, P6.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/08073214.pdf
- 図 36-図 37 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
板橋区医師会, P27, P36.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04031081.pdf
- 図 38 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
熊本市, P27.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11096264.pdf

図 39 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,
すさみ町, P22

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/07069207.pdf

図 40-44 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,
公立つるぎ病院, P2-6.

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/04042116_ppt.pdf

図 45 厚生労働省ホームページ, 在宅医療・介護の推進について, P17. (2013/10/30 アクセス)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/zaitaku/dl/zaitakuiryuu_all.pdf

資料 2) 地域包括ケアシステム構築への取組みにおいて参考にされたい情報紹介

厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/>

○在宅医療の推進について

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/zaitaku/index.html

○地域包括ケアシステム

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/index.html

○社会保障審議会 医療部会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126719>

○社会保障審議会 介護保険部会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126734>

○「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」について

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/05/s0521-11.html>

○市町村セミナー

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihosho/seminar/01.html>

首相官邸ホームページ <http://www.kantei.go.jp/>

政策会議 <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/>

○社会保障制度改革国民会議

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/>

公益社団法人 日本医師会ホームページ <http://www.med.or.jp/>

○第1回 日本医師会 在宅医リーダー研修会

<http://www.med.or.jp/jma/nichii/zaitaku/001707.html>

公益社団法人 日本看護協会ホームページ <http://www.nurse.or.jp/>

東京大学高齢社会総合研究機構ホームページ <http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/kensyu/index.html>

○在宅医療推進のための地域における多職種研修会

<http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/kensyu/index.html>

厚生労働科学研究 がん対策 のための戦略研究

緩和ケア普及のための地域プロジェクトホームページ <http://gankanwa.umin.jp/index.html>

(独)国立長寿医療研究センター <http://www.ncgg.go.jp/>

老年学・社会科学研究センター <http://www.ncgg.go.jp/cgss/index.html>

○在宅医療推進会議

<http://www.ncgg.go.jp/cgss/zaitaku.html>

○平成 24 年度在宅医療連携拠点事業－拠点の活動性の評価－

<http://www.ncgg.go.jp/cgss/slider20130515.html>

在宅連携医療部 <http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/index.html>

○平成 24 年度多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業 資料

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/jinzaiikusei/2012/leader01_doc.html

○平成 25 年度在宅医療・介護連携推進事業研修会 資料

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/jinzaiikusei/2013/leader01_doc1022.html

在宅医療・介護連携のための市町村ハンドブック

発行日：平成25年12月

制作： 独立行政法人
国立長寿医療研究センター

〒474-8511 愛知県大府市森岡町源吾35

TEL：（代表）0562-46-2311

<http://www.ncgg.go.jp/index.html>

※本ハンドブックは、厚生労働省委託の平成23、24年在宅医療連携拠点事業より得られた各種報告書等をもとに、有識者より指導助言を得たうえで当センターで取りまとめ、制作致しました。